

取扱説明書

ハイビジョンプラズマディスプレイ（業務用）



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(3～8ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

商標について

VGA、XGA、SXGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Macintosh は米国 Apple Inc. 社の登録商標です。

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国および他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

HDMI

もくじ

安全上のご注意	3	テクニカル調整	30
お手入れ／上手な使いかた	9	色域設定	32
付属品の確認	10	メモリー機能を使う	34
別売オプション	10	メモリーを保存する	35
リモコンの電池の入れかた	10	メモリーを呼び出す	36
接続	11	メモリーを編集する	37
映像機器の接続	11	初期設定 (SET UP)	38
SDI IN (4k2kデュアルリンクHD-SDI入力)		YUV/RGB 切換	38
端子の接続例	12	消費電力低減設定	38
DVI-D IN (4k2kシングルリンクDVI-D入力)		PCパワーマネージメント (DPMS機能)	38
端子の接続例	13	無信号自動オフ	38
HDMI (HDMI入力) 端子の接続例	14	表示言語切換	38
DVI-D IN (DVI-D入力) 端子の接続例	14	3D映像	39
PC IN (パソコン入力) 端子の接続例	15	信号モード	40
SERIAL (シリアル) 端子の接続例		スクリーンセーバー	42
(パソコンで制御する場合)	16	ロングライフ設定	43
各部の基本説明	17	入力表示書換設定	46
ディスプレイ本体	17	オプション (Options) メニュー ...	47
リモコン	18	3D Safety Precautions	
基本の操作	19	(3D警告メッセージを消したいとき)	48
電源を入れる	19	FUNCTIONボタンを使う	49
入力信号を切り換える	20	画面モード一覧	50
映像に合わせた拡大画面にする		工場出荷時の設定に戻すには	51
(ASPECT)	21	表示可能な入力信号	52
3D映像を見る	23	修理を依頼される前に	53
3Dガラスのトラブルシューティング	24	保証とアフターサービス	54
設定・入力信号と映像の見えかたのイメージ	24	仕様	55
オンスクリーンメニューについて... 25			
画面位置/サイズの調整			
(POS./SIZE)	26		
自動位置補正	26		
画質の調整 (PICTURE)	29		

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



気をつけていただく内容です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

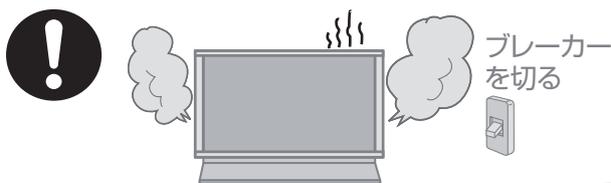


警告

異常が発生したときはすぐに使用をやめてください。

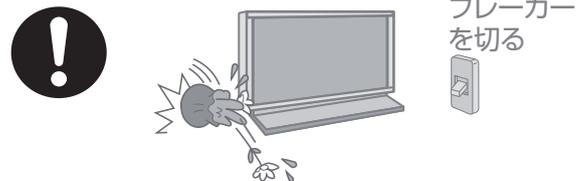
そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源スイッチを切り、本機のブレーカーを切って販売店に修理をご依頼ください。

■ **故障（画面が映らないなど）や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら本機のブレーカーを切る！**



煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、おやめください。

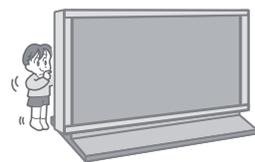
■ **内部に異物や水などの液体が入ったり、本機を落としたり、キャビネットが破損したら、本機のブレーカーを切る！**



■ **異物を入れないでください**



禁止



通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

● 特にお子様にはご注意ください。

■ **背面取り付け工事は、工事専門業者にご依頼ください**



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

● 指定の別売オプションをご使用ください。

● 表紙および3ページ以降のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

- 必ず本機専用の本機のブレーカーを使用してください



他の機器と併用すると、発熱による火災の原因となります。

- ぬれた手で本機のブレーカーを切/入しないでください



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

- ヒューズ付負荷開閉器の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください



感電の原因となります。

禁止

- 配線器具の定格を超える使い方や、交流200 V以外では使用しないでください



- 200 Vの電源工事は、工事専門業者にご依頼ください。
- 定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

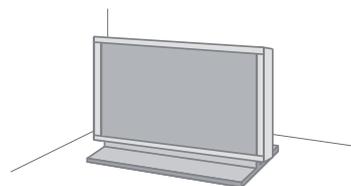
禁止



- 設置は地域のすべての規則に従って、専門の担当者が実施してください。



- 振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください



倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

- ぬらしたりしないでください



水ぬれ禁止

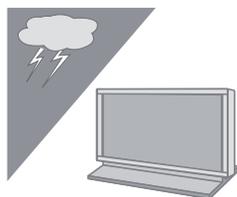
火災・感電の原因となります。



接触禁止

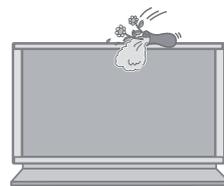
感電の原因となります。

- 雷が鳴りだしたら本機には触れないでください



水ぬれ禁止

- 上に水などの液体の入った容器を置かないでください



水などの液体がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器)

警告

■風呂場、シャワー室では使用しないでください



水場使用禁止

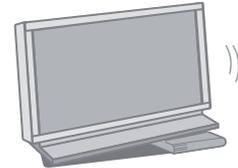


火災・感電の原因となります。

■台の上や不安定な場所に置かないでください



禁止



台の上や傾いた所など、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造したりしないでください



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



高圧注意

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあげないでください。
内部には高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。

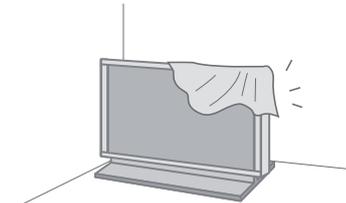
「本体に表示した事項」

注意

■本機の通風孔をふさがないでください



禁止



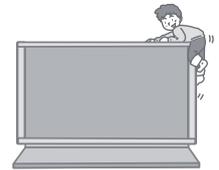
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

- 据置きスタンドをご使用のときは、上面・左右は50 cm以上、後面も50 cm以上の間隔をおいて据えつけてください。また、本機下面と床面との空間をふさがないでください。その他の取り付けかたでご使用のときは、対応する取り付け工事説明書に従ってください。(工事説明書に寸法の記載がない場合は、上面・左右は50 cm以上、下面は30 cm以上、後面は20 cm以上の間隔をおいて据えつけてください。)
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

■本機や据置きスタンドに乗ったり、ぶらさがったりしないでください



禁止



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、小さなお子様にはご注意ください。

■本機に脚立を立てかけるなどしないでください



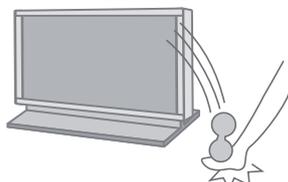
禁止

落下してけがの原因となることがあります。

■上に物を置かないでください



禁止

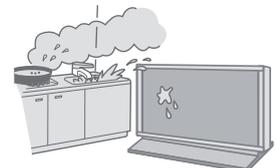


倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください



禁止



調理台や加湿器のそばなど火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 適度な距離※を保ってご覧ください



本機の画面を近距離でご覧になると、映像によっては映像酔いすることがあります。

※画面の高さの約3倍程度を目安にしてください。

■ 転倒防止の処置をしてください



地震やお子様がよく登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

■ 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされると、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続ケーブルを引っばったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

● 特に、お子様にはご注意ください。

■ 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください



禁止

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ 電池を入れるときには、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意してください



機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ ディスプレイパネルはガラス製ですので、強い力や衝撃を加えないでください



禁止

けがの原因となることがあります。

お手入れについて

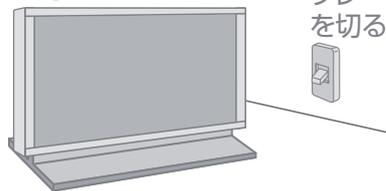
■ 1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

■ お手入れの際は、安全のため本機のブレーカーを切ってください



感電の原因となることがあります。

3D グラス

警告

誤飲防止について

- 電池、付属のバンドやノーズパッドは、乳幼児の手の届く所に置かないでください



誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解禁止について

- 3Dグラスを分解したり、改造しないでください



分解禁止

火災や視聴時の異常による体調不良の原因になります。

コイン型リチウム電池の取り扱いについて

- 電池を火の中に入れてたり、加熱したりしないでください



破裂して事故の原因になります。

注意

業務用途や公衆への視聴について

- 管理者が責任を持って、3Dグラスに関する注意事項を使用者にお伝えください。



目の疲れや体調不良の原因となることがあります。

3D 映像の視聴について

- 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3Dグラスを使用しないでください



病状悪化の原因になることがあります。



- 3Dグラスで視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、使用を中止してください
そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。
適度な休憩をとってください。



- 3D映画などをご覧になる場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとってください
- 3Dゲームやパソコンなどの双方向にやり取りできる機器の3D映像をご覧になる場合は、30～60分を目安に適度に休憩をとってください
長時間の視聴による目の疲れの原因になることがあります。

- コンテンツについては市販されているブルーレイディスク等や3D放送等をご使用ください。
- コンテンツをご自分で用意される場合は、3D用として適切に制作されたコンテンツをご使用ください。



目の疲れや体調不良の原因となることがあります。



- 3Dグラスを使用しているときに誤ってディスプレイの画面や人をたたかないでください

3D映像のため、画面との距離を誤り、画面をたたきけがの原因になることがあります。



- 3Dの映像を見るときは3Dグラスをご使用ください
- 3Dグラスは、両目を水平に近い状態で視聴してください
- 近視や遠視の方、左右の視力が異なる方や乱視の方は視力矯正メガネの装着などにより、視力を適切に矯正したうえで3Dグラスをご使用ください
- 3D映像を視聴中に、はっきりと2重に像が見えたら使用を中止してください

3D映像のため、画面との距離を誤り、画面をたたきけがの原因になることがあります。



- 画面の有効高さの3倍以上の視距離で見てください

(推奨距離)：5.4m以上

推奨距離より近距離での使用は目の疲れの原因になることがあります。映画のように上下に黒帯がある場合は、映像部分の高さに対して3倍以上の視距離でご覧ください。(上記推奨距離よりも短くなります。)

3D グラス (つづき)

注意

3D グラスの使用について

- 3Dグラスでの視聴年齢については、5～6歳以上を目安にしてください



お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様が見るときは、保護者の方が目の疲れが無いかが、ご注意ください。



- 3Dグラスは、指定の用途以外には使用しないでください
- 3Dグラスを割れた状態で使用しないでください

けがや目の疲れの原因になることがあります。



- 3Dグラスを使用するときは周囲に壊れやすいものを置かないでください

3D映像を実際の物に間違えて身体を動かし、周囲の物を破損してけがの原因になることがあります。



- 3Dグラスに異常・故障があったときは直ちに使用を中止してください

そのまま使用するとけがや目の疲れ、体調不良の原因になることがあります。



- 肌に異常を感じたら3Dグラスの使用を中止してください

ごくまれに塗料や材質でアレルギーの原因になることがあります。



- 3Dグラスをかけたまま移動しないでください

周りが暗くなり、転倒などによるけがの原因になることがあります。



- 鼻やこめかみが赤くなったり、痛み、かゆみを感じたら3Dグラスの使用を中止してください

長時間の使用による圧力により発生することがあり、体調不良の原因になることがあります。

3D グラスについて

- 3Dグラスに物を落としたり、力を加えたり、踏んだりしないでください



ガラス部分などが破損してけがの原因になることがあります。

- 付属のケースに入れて保管してください。



- 3Dグラスのヒンジ部に指をはさまないようにしてください

けがの原因になることがあります。

- 付属のケースに入れて保管してください。



- 3Dグラスを装着時は、フレームの先端にご注意ください

目についてけがの原因になることがあります。

コイン型リチウム電池の取り扱いについて

- 極性（プラス⊕とマイナス⊖）を逆に入れてしないでください



間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。挿入指示通り正しく入れてください。



- 指定以外の電池を使用しないでください

間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。

お手入れ／上手な使いかた

■ 設置されるとき

本機の設置については、下記の事項をお守りください。

● 機器相互の干渉に注意してください。

プラズマディスプレイの影響を受けて、ビデオやラジオ等の映像や音声に雑音が入ったり誤動作する場合があります。
(発生した場合はディスプレイ本体から十分離してご使用ください。)

● 機器の接続は電源を「切」にして行ってください。

各機器の説明書に従って、接続してください。

● 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

本機に振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

● 本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

指定の取り付けユニットをご使用ください。
(P.10ページ)

● 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

● 直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。

キャビネットの変形や故障の原因となります。

● 本機を移動されるとき。

ディスプレイパネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

■ ご使用になるとき

● 本機は残像が発生することがあります。

画面モードを「ノーマル」(映像の横縦比4:3)で長時間で覧になると、映像の表示部と映像の映らない部分とで画面の明るさが異なるため、残像(焼き付き現象)が発生します。

画面モードをジャストやフル、ズームにしてご覧になると軽減されます。静止画や静止文字を長時間表示した場合、同様に残像が発生します。この場合は、動きのある映像でしばらくお使いいただくと、少し軽減されますが、完全に消えませんのでご注意ください。

● ディスプレイパネル表面について

ディスプレイパネル表面に指紋や汚れが付くと、きれいな映像が見られません。
傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

● ディスプレイ本体の一部が熱くなることがあります。

前面パネル、天面、背面の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。

● 長時間ご使用にならないときは

本機のブレーカーを切ってください。
リモコンで電源を切った場合は約 0.5 W、本体の電源を切った場合は約 0.3 W の電力を消費します。

■ お手入れについて

必ず本機のブレーカーを切ってから行ってください。



● キャビネットはやわらかい乾いた布で

汚れがひどいときは水で薄めた台所用洗剤(中性)にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。



● 殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

キャビネットの変質や塗装がはがれます。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。



● ディスプレイパネルの前面は時々、やわらかい布(綿・ネル地など)で軽くふく

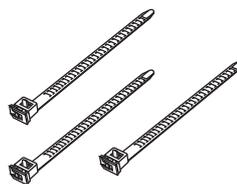
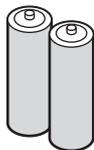
- ひどい汚れやディスプレイパネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で100倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 水滴が内部に入ると故障の原因になります。

お知らせ ディスプレイパネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷が付く原因になります。

付属品の確認

付属品が入っていることをご確認ください。() は個数です。

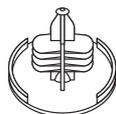
- 取扱説明書
 リモコン N2QAYB000560
 単3型乾電池 (2)
 バンド (3) TMME203



- ナットカバー (3) (M20)



- ナットカバー (3) (M16)



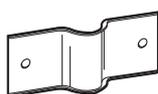
- ボルト (3)



- 電源コード固定板A (2)



- 電源コード固定板B (2)



- 六角レンチ (1)



本機を設置するときに業者が使用します。

別売オプション

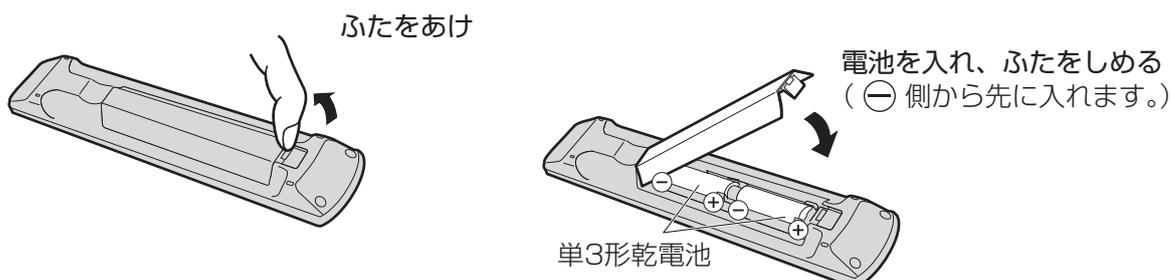
別売オプションの設置は、しっかり取り付けてください。(取り付けは専門の業者にご依頼ください。)

- 据置きスタンド：
 - TY-ST152UX1
- 背面取り付け用金具 (垂直取り付け型)：TY-WK152UX1
- DVI-D端子ボード：TY-FB11DD
- Dual Link HD-SDI端子ボード：TY-FB11DHD
- HD-SDI端子ボード (音声対応)：TY-FB10HD

お願い

- 取り付けるときは別売オプションに同梱の説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- 壁掛けの取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 据置きスタンドの説明書をよくお読みのうえ、必ず転倒防止の処置をしてください。
- 設置時、衝撃などによる「パネルの割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

リモコンの電池の入れかた

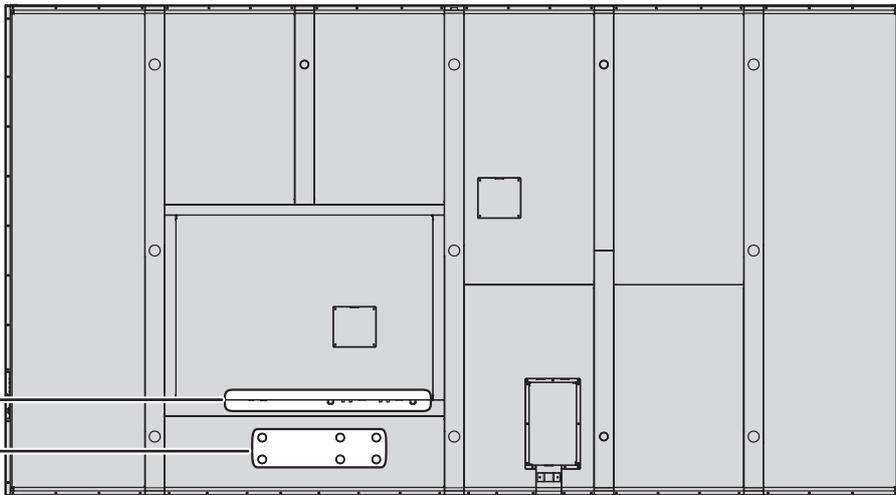


お願い

- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

接続

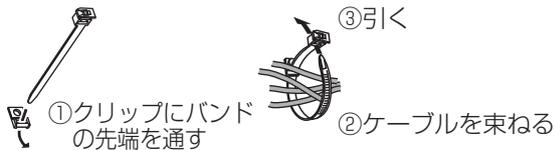
映像機器の接続



接続ケーブルの固定

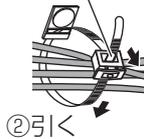
バンド（付属）で固定するとき

接続ケーブル類は、設置状態にあわせて必要に応じ、バンドで固定してください。



はずすとき

①ノブを引きながら



SERIAL

パソコンに接続して本機を制御します。
(☞ 16ページ)

3D SHUTTER OUT

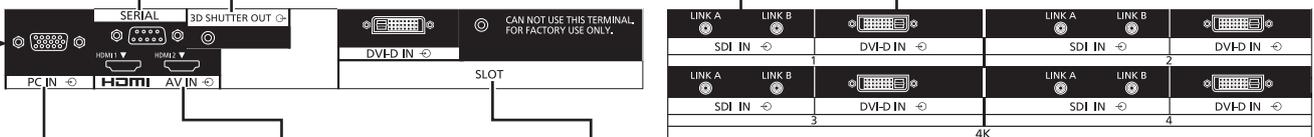
3D IRトランスミッター（別売）を接続します。

SDI IN 1-4 (4系統)

4k2k信号用Dual Link HD-SDI入力端子
(☞ 12ページ)

DVI-D IN 1-4 (4系統)

4k2k信号用Single Link DVI-D入力端子
(☞ 13ページ)



PC IN

パソコン入力端子
(☞ 15ページ)

AV IN (HDMI 1/2)

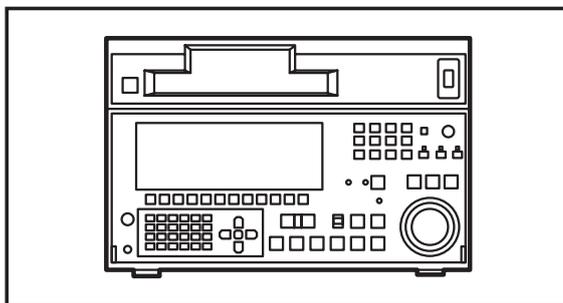
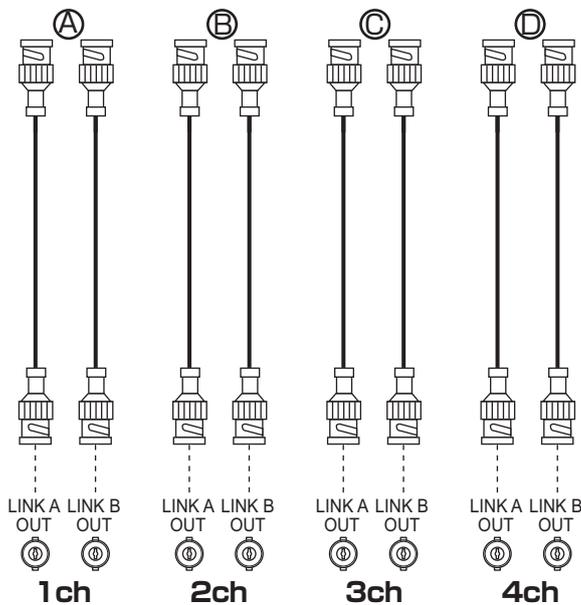
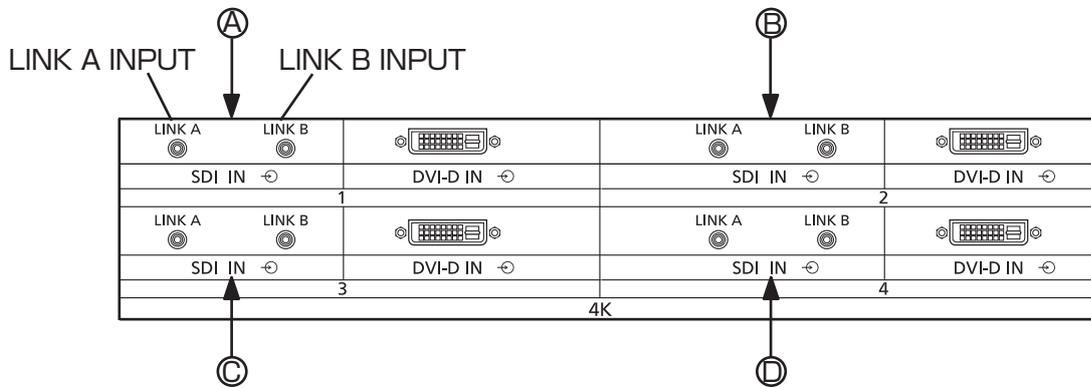
HDMI入力端子
(☞ 14ページ)

SLOT (DVI-D IN)

DVI-D端子ボード：TY-FB11DD相当品。
DVI-D出力のある機器を接続します。
(☞ 14ページ)
端子ボード(別売オプション)を装着できます。
(☞ 10ページ)

接続

SDI IN (4k2kデュアルリンクHD-SDI入力) 端子の接続例



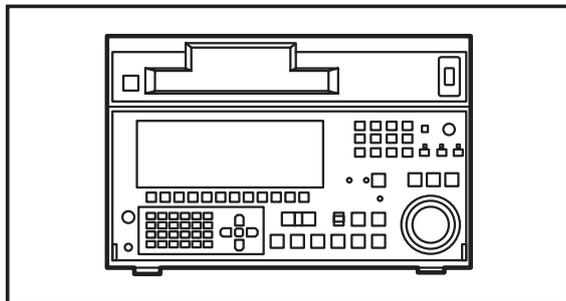
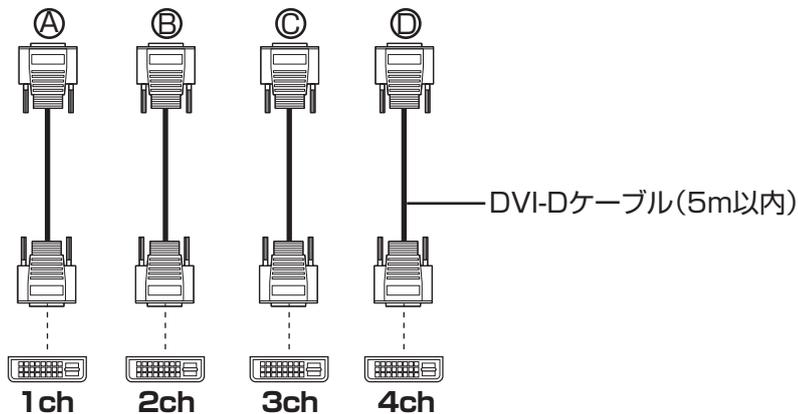
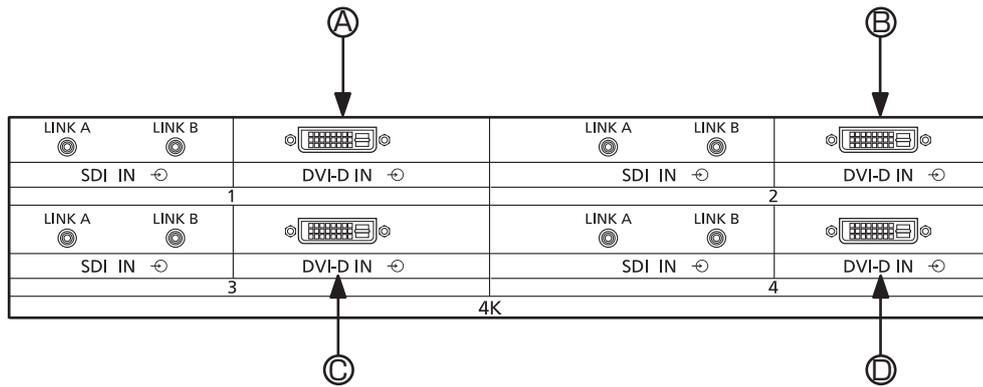
デュアルリンクHD-SDI出力機能がある機器

お知らせ

映像機器や接続ケーブルは本機に付属していません。

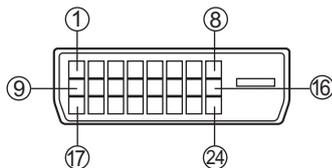
- 推奨ケーブル
75 Ω同軸ケーブル 5C-FB
- 最大延長長さ 100m
※減衰量 750MHz 20dB/100m 以下のケーブルを使用した場合

DVI-D IN (4k2kシングルリンクDVI-D入力) 端子の接続例



シングルリンクDVI-D出力機能がある機器

DVI-D入力端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
①	T.M.D.S. データ 2 -	⑬	_____
②	T.M.D.S. データ 2 +	⑭	+5V 電源
③	T.M.D.S. データ 2 シールド	⑮	アース
④	_____	⑯	ホットプラグ検出
⑤	_____	⑰	T.M.D.S. データ 0 -
⑥	DDC クロック	⑱	T.M.D.S. データ 0 +
⑦	DDC データ	⑲	T.M.D.S. データ 0 シールド
⑧	_____	⑳	_____
⑨	T.M.D.S. データ 1 -	㉑	_____
⑩	T.M.D.S. データ 1 +	㉒	T.M.D.S. クロック シールド
⑪	T.M.D.S. データ 1 シールド	㉓	T.M.D.S. クロック +
⑫	_____	㉔	T.M.D.S. クロック -

お願い

DVI-DケーブルはDVI規格準拠のケーブルをご使用ください。(ケーブルの長さや質によって画質は劣化する場合があります)

お知らせ

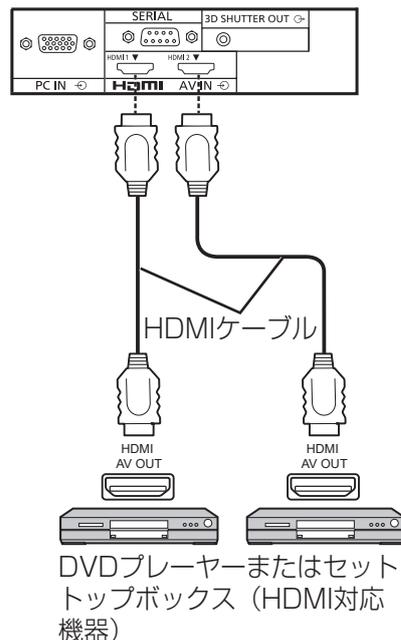
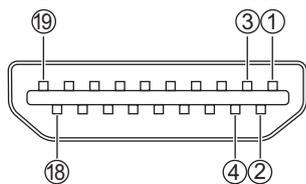
映像機器や接続ケーブルは本機に付属していません。

接続

HDMI (HDMI入力) 端子の接続例

HDMI端子のピン配列と信号名

ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
①	T.M.D.S データ2 +	⑪	T.M.D.S クロックシールド
②	T.M.D.S データ2 シールド	⑫	T.M.D.S クロッキー
③	T.M.D.S データ2 -	⑬	CEC
④	T.M.D.S データ1 +	⑭	予備 (接続なし)
⑤	T.M.D.S データ1 シールド	⑮	SCL
⑥	T.M.D.S データ1 -	⑯	SDA
⑦	T.M.D.S データ0 +	⑰	DDC/CEC グラウンド
⑧	T.M.D.S データ0 シールド	⑱	+5V 電源
⑨	T.M.D.S データ0 -		
⑩	T.M.D.S クロック+		



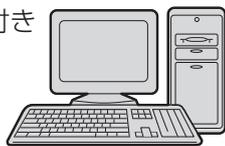
お知らせ

映像機器やHDMIケーブルは本機に付属していません。

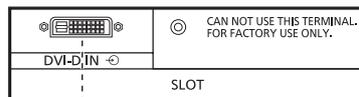
DVI-D IN (DVI-D入力) 端子の接続例

本機は、DVI-D端子ボード (TY-FB11DD) 相当品を標準装備しています。

DVI-D出力付き
パソコン



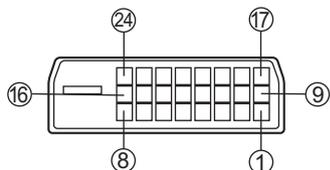
DVI-Dケーブル (5m以内)



音声入力は無効です。

DVI-D入力端子のピン配列と信号名

ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
①	T.M.D.S. データ 2 -	⑬	_____
②	T.M.D.S. データ 2 +	⑭	+5V 電源
③	T.M.D.S. データ 2 シールド	⑮	アース
④	_____	⑯	ホットプラグ検出
⑤	_____	⑰	T.M.D.S. データ 0 -
⑥	DDC クロック	⑱	T.M.D.S. データ 0 +
⑦	DDC データ	⑲	T.M.D.S. データ 0 シールド
⑧	_____	⑳	_____
⑨	T.M.D.S. データ 1 -	㉑	_____
⑩	T.M.D.S. データ 1 +	㉒	T.M.D.S. クロック シールド
⑪	T.M.D.S. データ 1 シールド	㉓	T.M.D.S. クロック +
⑫	_____	㉔	T.M.D.S. クロック -



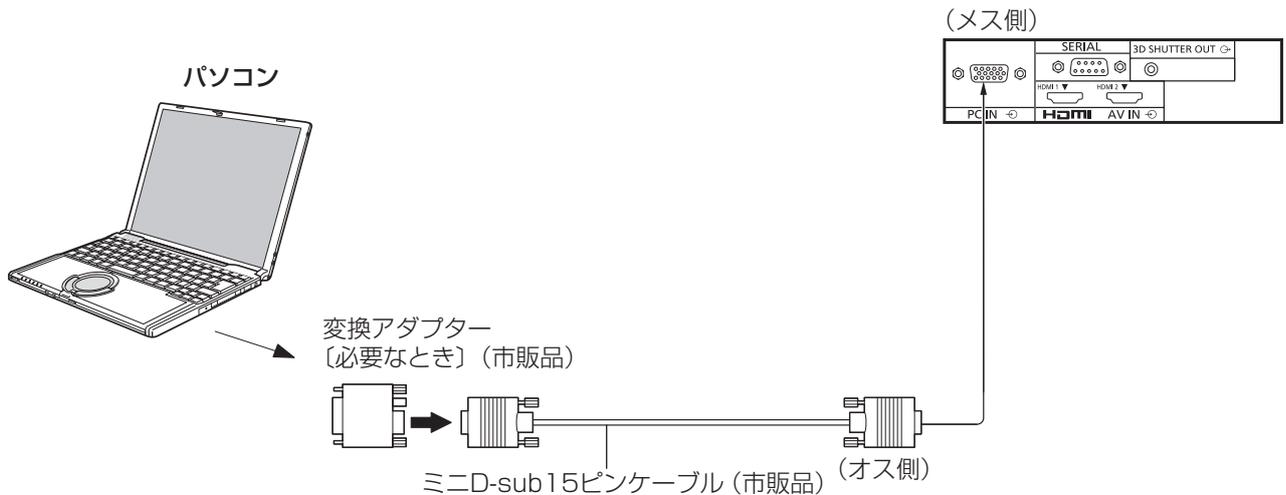
お願い

DVI-DケーブルはDVI規格準拠のケーブルをご使用ください。(ケーブルの長さや質によって画質は劣化する場合があります)

お知らせ

映像機器や接続ケーブルは本機に付属していません。

PC IN (パソコン入力) 端子の接続例



接続できるパソコン信号の種類

- 本機は、下の表に記載の代表的な 30 種類のパソコン信号について、あらかじめ標準的な画面の位置やサイズなどの調整値を記憶しています。
表に記載されていないパソコン信号は、最大 8 種類まで追加して記憶します。
(対応周波数は水平：15 kHz～110 kHz、垂直：48 Hz～120 Hz です。)

〈本体に記憶済みのパソコン信号一覧表〉 ※ パソコン側が以下の信号に対応している必要があります。

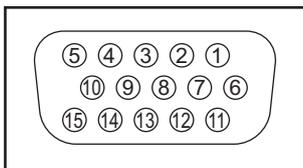
640×400:70 Hz	800×600:72 Hz	1280×768:60 Hz ※	1066×600:60 Hz ※
640×480:60 Hz	800×600:75 Hz	1280×960:60 Hz	1366×768:60 Hz ※
640×480:72 Hz	800×600:85 Hz	1280×960:85 Hz	1920×1080:60 Hz
640×480:75 Hz	1024×768:60 Hz	1280×1024:60 Hz	640×480:67 Hz (Mac13")
640×480:85 Hz	1024×768:70 Hz	1280×1024:75 Hz	832×624:75 Hz (Mac16")
852×480:60 Hz ※	1024×768:75 Hz	1280×1024:85 Hz	1152×870:75 Hz (Mac21")
800×600:56 Hz	1024×768:85 Hz	1600×1200:60 Hz	
800×600:60 Hz	1152×864:75 Hz	1600×1200:65 Hz	

- 入力信号の画素数が垂直は1080ドットを超えるもの、水平は「ノーマル」で1440ドット、「フル」で1920ドットを超えるものは簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。(SXGA対応)
- 対応周波数を超える信号を入力すると、正常な映像を表示できません。なお、範囲内でも一部正常な映像を表示できない場合があります。
- パソコンの画面が表示されない場合はパソコンの映像信号が上記の表に該当しているかご確認のうえ、設定を変更してください。ノートパソコンでは、省電力のために映像出力をオフにしている場合があります。そのときはパソコンのファンクションキーの操作などによりオンにできる場合があります。(パソコンの取扱説明書をご確認ください)

お知らせ

- ディスプレイのプラグ・アンド・プレイ (DDC2B) に対応していないパソコンは接続時の設定が必要です。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続できないものもあります。
- D-sub15 ピン端子の機種やMacintosh のパソコンを接続する場合には、必要に応じて市販の変換アダプターをお使いください。
※パソコンのミニD-sub15 ピン端子が、DOS/V に対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。

パソコン入力端子 (ミニD-sub15ピン) のピン配列と信号名

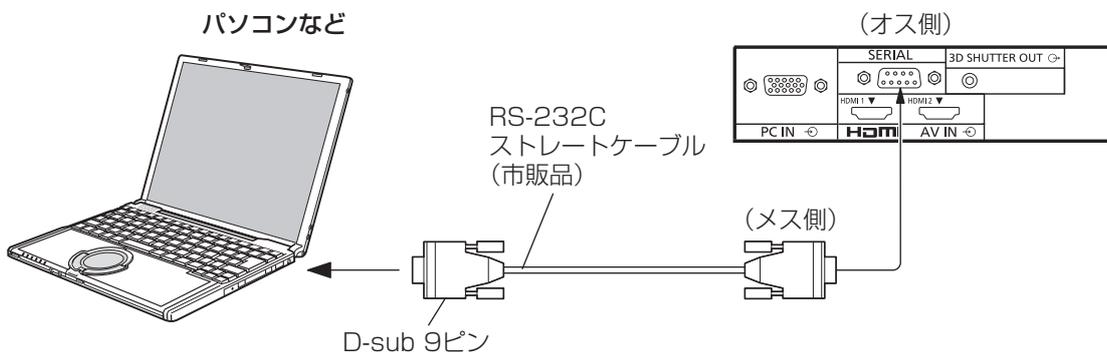


ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名
①	R	⑥	GND(アース)	⑪	NC(無接続)
②	G	⑦	GND(アース)	⑫	SDA
③	B	⑧	GND(アース)	⑬	HD / SYNC
④	NC(無接続)	⑨	+5 V DC	⑭	VD
⑤	GND(アース)	⑩	GND(アース)	⑮	SCL

接続

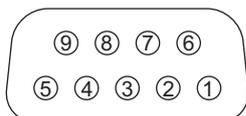
SERIAL (シリアル) 端子の接続例 (パソコンで制御する場合)

SERIAL (シリアル) 端子はRS-232C 準拠のため、パソコンと接続して本体をパソコンで制御することができます。



お願い SERIAL (シリアル) 端子とパソコンをつなぐ通信RS-232Cストレートケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

ピン配列と信号名



本体側
シリアル (SERIAL) 端子

ピンNo.	信号名	内容
①	CD	NC
②	RXD	受信データ
③	TXD	送信データ
④	DTR	未使用
⑤	GND	グラウンド
⑥	DSR	未使用
⑦	RTS] (本体側で短絡)
⑧	CTS	
⑨	RI	NC

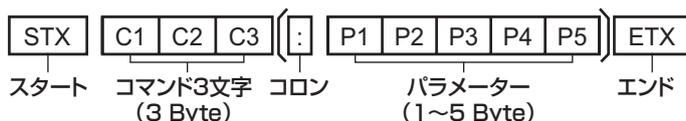
※ パソコン側の仕様で記載しています。

通信条件

信号レベル	RS-232C準拠
同期方式	調歩同期 (非同期)
ボーレート	9600 bps
パリティ	なし
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



お願い 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから、次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合はコロン (:) は必要ありません。

- お知らせ**
- 間違ったコマンドを送信すると、本機から“ER401”というコマンドがパソコン側に送信されます。
 - 電源「スタンバイ」状態 (リモコンで電源「切」) 中は“PON”コマンド以外の動作は保証されません。

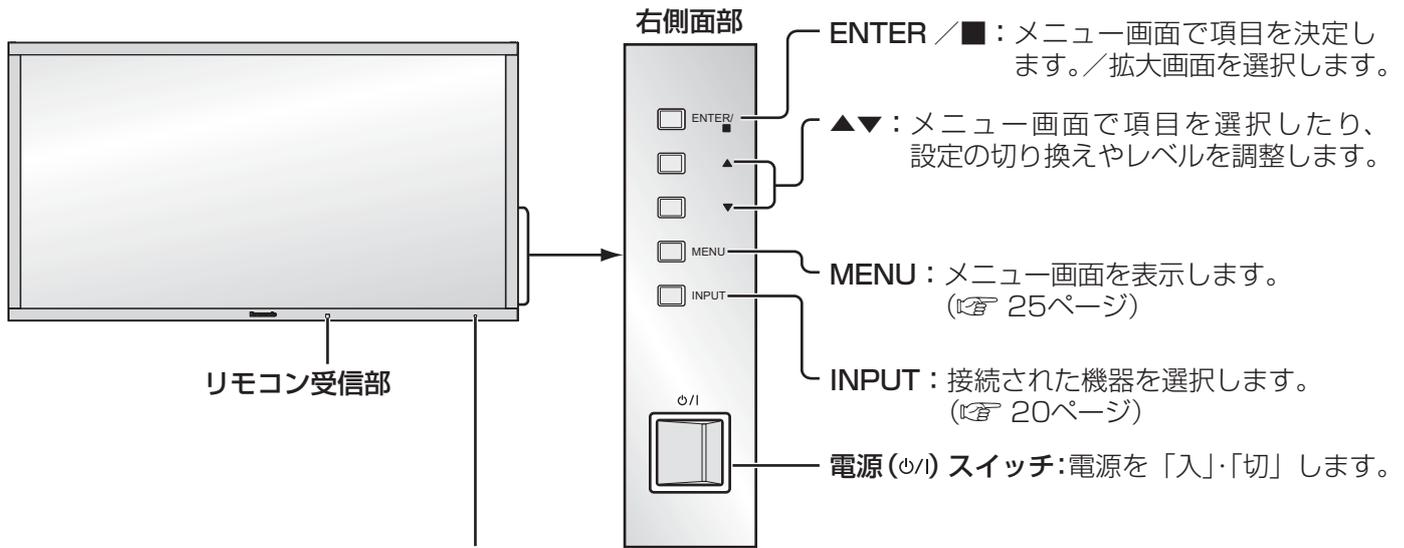
コマンド一覧

コマンド	パラメーター	制御内容
PON	なし	電源「入」
POF	なし	電源「切」
IMS	なし	入力切替 (トグル)
	SL1	SLOT入力 (SLOT INPUT)
	SD1	SDI IN入力 (4K-SDI)
	DV1	DVI-D IN入力 (4K-DVI)
	HM1	HDMI 1入力 (HDMI1)
	HM2	HDMI 2入力 (HDMI2)
	PC1	PC IN入力 (PC)
DAM*	なし	画面モード切替 (トグル)
	ZOOM	ズーム (ビデオ/SD/パソコン信号時)
	FULL	フル
	JUST	ジャスト (ビデオ/SD信号時)
	NORM	ノーマル (4:3) (ビデオ/SD/パソコン信号時)
	ZOM2	サイドカットズーム (HD信号時)
	SJST	サイドカットジャスト (HD信号時)
	SNOM	サイドカットノーマル (HD信号時)
SFUL	サイドカットフル (HD信号時)	

※ Aspect Mode: Mode2の場合のコマンドです。

各部の基本説明

ディスプレイ本体



電源ランプ

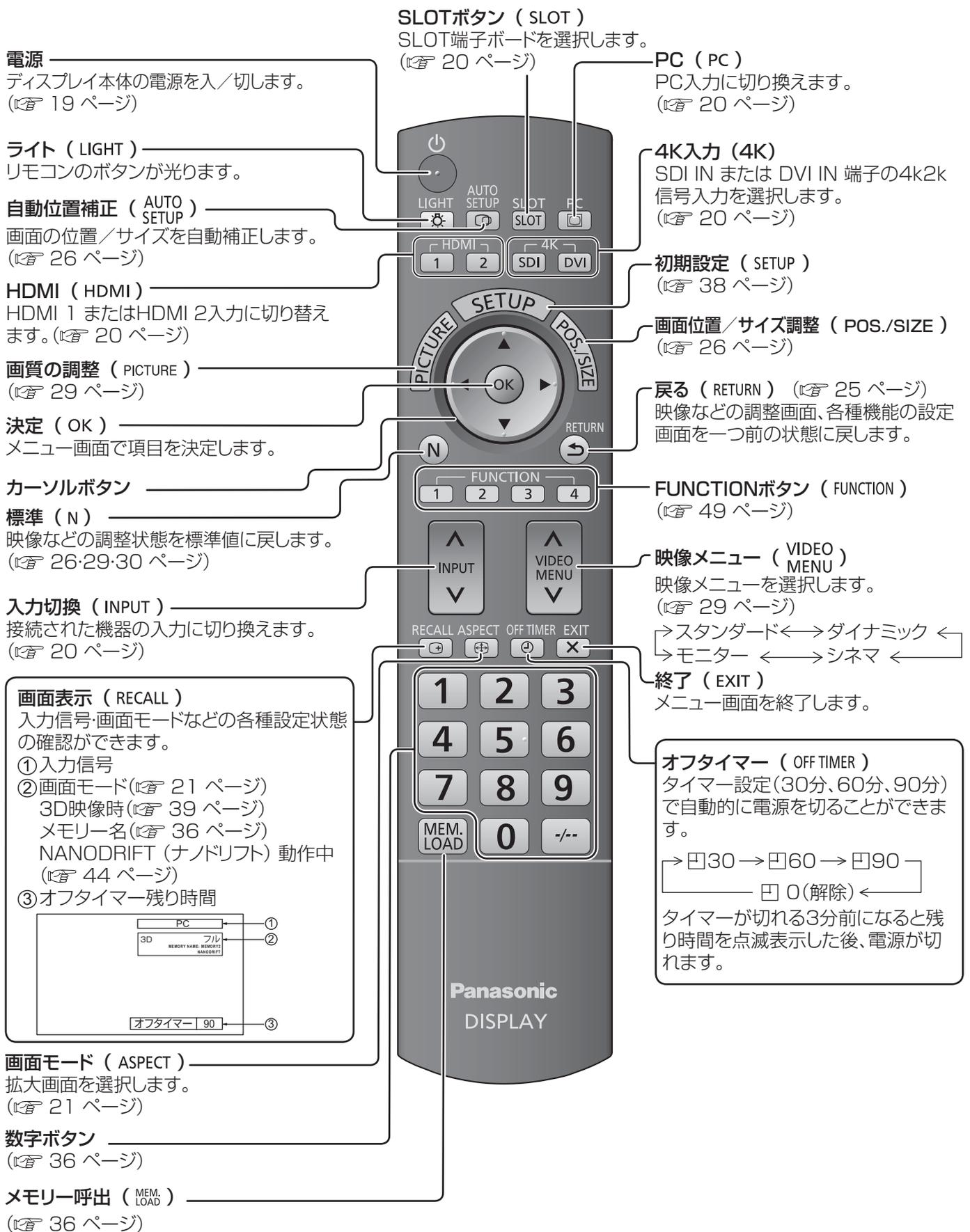
ディスプレイ本体の電源「入」のとき

- 電源が「切」および電源ランプが赤色、無点灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。

- 映像表示状態 緑色点灯
- リモコンで「切」(スタンバイ状態) 赤色点灯
- PCパワーマネージメントで電源「切」(DPMS機能) (☞ 38ページ) ... 橙色点灯
- ディスプレイ本体の電源「切」のとき 消灯

各部の基本説明

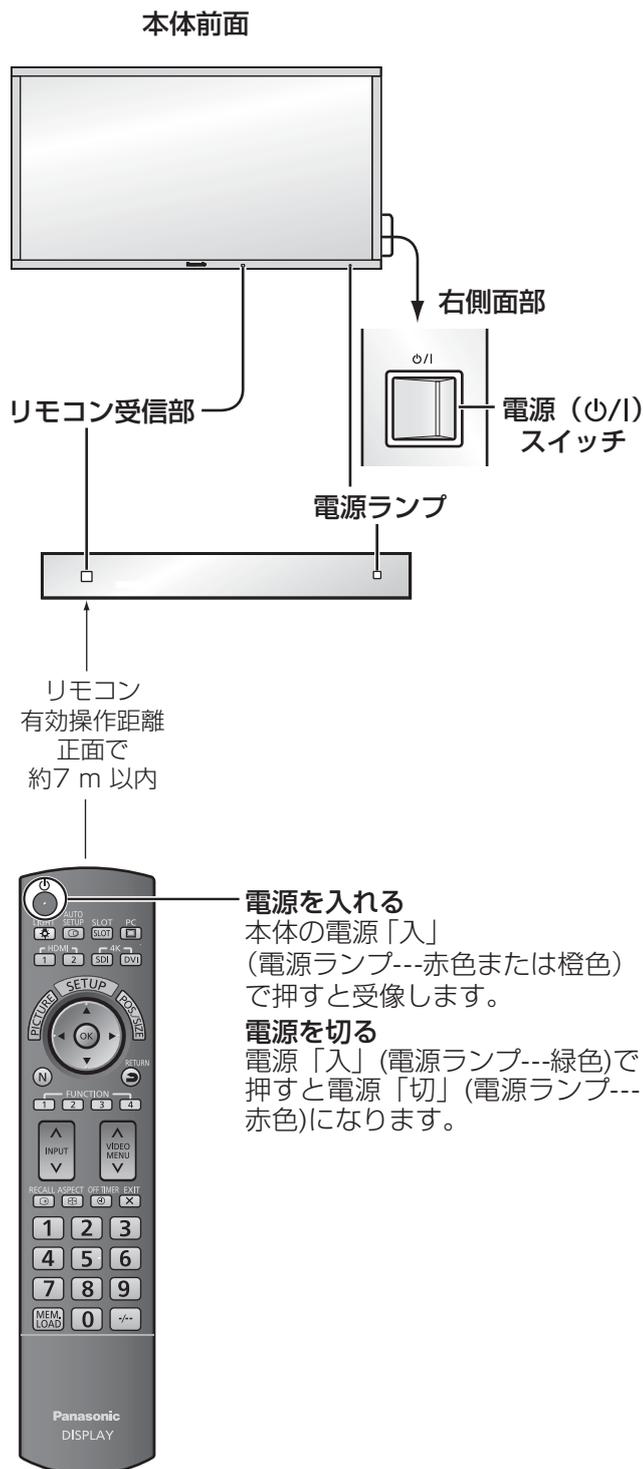
リモコン



お願い

- 本体のリモコン受信部とリモコン間に障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

基本の操作



準備

本機のブレーカーを入れます。
(AC 200 V 50 Hz/60 Hz)

電源を入れる

本体の電源 (⏻/⏻) スイッチを押し電源を「入」にします。

電源ランプが緑色に点灯します。

- 本体の電源が「入」のとき、リモコンで操作ができます。

本機の電源を「入」にした後、しばらくの間、下のように画面表示されます。

初めて電源を「入」にしたとき

次の画面が表示されます。

リモコンで設定してください。本体のボタンでは設定できません。

表示言語切替



- お知らせ**
- この画面は、一度設定すると、次回電源を「入」にしたとき表示されません。
 - 設定後でも次のメニューで設定を変更できます。
表示言語切替 39ページ

3D 警告メッセージについて

3Dを不特定多数の方々に見せる場合、または業務用途で使用する場合は、管理者が責任を持って、以下の注意を3Dグラスの使用者にお伝えください。また、ご家庭で使用する場合も、以下の注意をしてください。

- ・3Dを正しく、快適に見ていただくために取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みください。
- ・体調不良の状態での3Dのご視聴はお止めください。
- ・ご視聴中に体に疲れを感じられたら、直ちに使用を中止してください。
- ・コンテンツについては市販されているブルーレイディスク等をご使用ください。

3D映像を業務用途などで不特定多数の方々に見せる場合は、3D警告メッセージをご使用ください。「Options」メニューの「3D Safety Precautions」を「On」に設定すると、電源を入れたときに毎回表示されます。(48ページ)

基本の操作

入力信号を切り換える

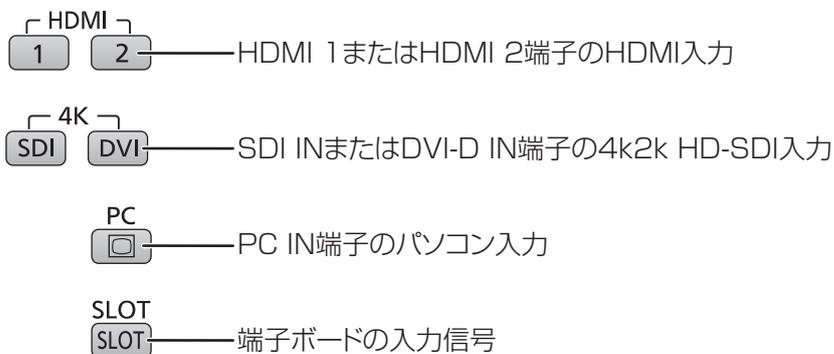
 または  INPUT を押して本機に入力された信号を選択します。押すごとに切り換わります。

INPUT	
	HDMI 1端子のHDMI入力
	HDMI 2端子のHDMI入力
	端子ボードの入力信号*
	SDI IN端子の4k2k HD-SDI入力。
	DVI-D IN端子の4k2k DVI-D入力。
	PC IN端子のパソコン入力

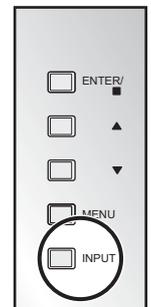
※ 「SLOT INPUT」は、端子ボードを装着している場合に表示されます。



ダイレクトボタンで選ぶ



本体右側面部



お知らせ

静止画を長時間映すと、プラズマディスプレイパネルに映像の焼き付き(残像現象)を起こす恐れがあるため、画面を少し暗くする機能(☞ 53ページ)が働きますが十分ではありませんのでご注意ください。このような現象を軽減するため、スクリーンセーバー機能およびロングライフ設定のご利用をおすすめします。(☞ 42・43ページ)

映像に合わせた拡大画面にする (ASPECT)



ASPECT

または を押すごとに画面モードが切り換わります。

画面モードの詳しい説明については、50ページ「画面モード一覧」をご覧ください。

お知らせ 画面モードは入力端子ごとに記憶します。

アスペクトモード

本機の画面モード切り換えパターンは、次の3つのモードがあります。モードの切り換えはOptionsメニューの「Aspect Mode」で設定できます。(P.48ページ)

Mode1、Mode2、All Aspect

工場出荷時のアスペクトモードは「Mode1」です。

【3D映像時、4k2k信号入力時の画面モード】

画面モードは「フル」固定となり、切り換えできません。

本体右側面部

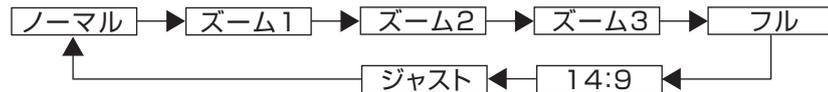


Mode1 (初期設定)

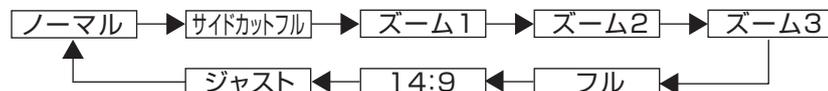
- パソコン信号のとき



- SD信号 (525 (480) / 60i・60p, 625 (575) / 50i・50p) のとき



- HD信号 (1125 (1080) / 60i・50i・60p・50p・24p・25p・30p・24sF, 750 (720) / 60p・50p, 1250 (1080) / 50i) のとき

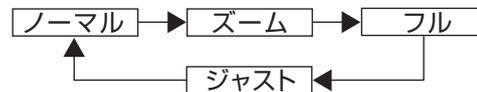


Mode2

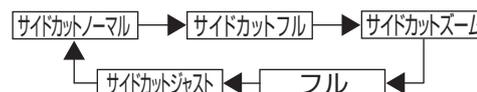
- パソコン信号のとき



- SD信号 (525 (480) / 60i・60p, 625 (575) / 50i・50p) のとき



- HD信号 (1125 (1080) / 60i・50i・60p・50p・24p・25p・30p・24sF, 750 (720) / 60p・50p, 1250 (1080) / 50i) のとき



映像に合わせた拡大画面にする (ASPECT)

All Aspect (全画面モード)

- パソコン信号のとき



- SD信号 (525 (480) / 60i・60p, 625 (575) / 50i・50p) のとき



- HD信号 (1125 (1080) / 60i・50i・60p・50p・24p・25p・30p・24sF, 750 (720) / 60p・50p, 1250 (1080) / 50i) のとき



映像の横縦比 (アスペクト)

放送や映像ソフトにより画面の横と縦の比が異なります。

放送・映像ソフト	横縦比
<ul style="list-style-type: none"> ● VHF、UHF放送 (一部のデジタル放送) 	
<ul style="list-style-type: none"> ● ハイビジョン放送 ● ワイドクリアビジョン放送 ● ビスタビジョンサイズⅠソフト (一部のデジタル放送) 	
<ul style="list-style-type: none"> ● ビスタビジョンサイズⅡソフト 	
<ul style="list-style-type: none"> ● シネマビジョンサイズソフト 	

お知らせ

- このディスプレイは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
- ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上の権利を侵害する恐れがあります。他人の著作物は、許諾なく営利目的で視聴させたり、改変したりすることができませんのでご注意ください。
- ワイド映像でない従来 (通常) の4:3の映像をズーム・ジャスト・フルモードを利用して、ディスプレイの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

3D映像を見る

別売の3Dグラスで3Dに対応したコンテンツなどを見ると、3D映像が楽しめます。

お知らせ

本機で3D映像をお楽しみいただくには、別売の3D IR トランスミッターと3Dグラスが必要です。詳しくは3D IR トランスミッターおよび3Dグラスの取扱説明書をご覧ください。

本機は「フレームシーケンシャル※1」、「サイドバイサイド※2」、および「トップアンドボトム※3」3D方式に対応しています。

※1 右目と左目に入る画像を鮮明度の高い品質で録画し、交互に再生する3D方式

※2, ※3 このほかに利用可能な3D方式

3D映像を見る

フレームシーケンシャル形式のコンテンツを見る（3D映像対応のブルーレイディスクなど）

HDMIケーブルを用いて3D対応プレイヤーを本機に接続し（☞ 14ページ）、コンテンツを再生してください。

- HDMI規格に準拠したケーブルをご使用ください。
- プレイヤーの設定方法は、プレイヤーの取扱説明書をご覧ください。
- 3Dに対応していないプレイヤーを使用している場合は、3D映像が表示されません。

フレームシーケンシャル以外の3D形式コンテンツを見る

映像を見る前に画像形式を「3D方式切替」に合わせてください（☞ 39ページ）。

- 3Dに対応していないプレイヤーを使用している場合でも、「サイドバイサイド」と「トップアンドボトム」の3D効果をお楽しみいただけます。
- このサービスのご利用については、コンテンツやプログラムの供給元にお問い合わせください。

① 3Dグラスの電源を入れる

- 3Dグラスの取り扱いかたは、3Dグラスの取扱説明書をご参照ください。

② 3Dグラスを装着する

③ 3D映像を見る

お知らせ

- 蛍光灯（50Hz）を点灯した室内で3Dグラスを使用すると、光がちらついて見えることがあります。その場合は、蛍光灯を消灯してください。
- 3Dグラスの上下を逆さまにしたり裏と表を逆にして装着すると、3D映像が正しく見えません。
- 3D映像を見るとき以外は3Dグラスを装着しないでください。3Dグラスを装着していると、液晶画面（PC、デジタル時計、計算機など）が見えにくいことがあります。
- 3Dグラスをサングラスとして使用しないでください。
- 3D効果は、人によって見え方に個人差があります。

3D映像を見る

3Dグラスのトラブルシューティング

こんなとき	ここをお調べください
3D映像にならない	<ul style="list-style-type: none"> ● 3D映像に切り換わっていますか？ ● 「3D映像」の「3Dグラス」が「使う」になっているか確認してください (P.39 ページ)。 ● 3D映像信号の中には、自動では3D映像と認識されないものがあります。(P.39 下記) 画像形式を合わせるため、「3D映像」で「3D方式切換」を設定してください。 ● ディスプレイと3Dグラスの間に物を置いていませんか？ ディスプレイからの赤外線信号が途絶えると、5分後に自動的に電源が切れます。 ● 3Dグラスの視聴可能範囲を確認してください。 ● 人によっては3D映像が見えにくかったり全く見えない場合があります。左右の視力に差がある場合は、特にそうなりがちです。3Dグラスをご使用になる前に、視力を矯正するなど、必要な対策を講じてください。
3Dグラスの電源が勝手に切れる	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスプレイ上の赤外線センサーと3Dグラスとの間に障害物がないか、また3Dグラスを視聴可能範囲内で使用しているか確認してください。ディスプレイからの赤外線信号が途絶えると、5分後に自動的に電源が切れます。
3D映像がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ● 「左右反転」の設定を確認してください (P.39 ページ)。
3Dグラスの電源ボタンを押してもインジケータランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池が消耗していませんか？ 電池を交換してください。

設定・入力信号と映像の見えかたのイメージ

映像の見え方がおかしい場合は、下の表を参考にして、正しい3D方式を選択してください。

3D方式切換	オート	サイドバイサイド	トップアンドボトム	2D
入力信号				
サイドバイサイド	 ※1	 (正常な 3D 映像) ※2		
トップアンドボトム	 ※1		 (正常な 3D 映像) ※2	
2D	 (正常な 2D 映像)			 (正常な 2D 映像)

※1 映像が正しく認識されない場合

※2 「3Dグラス」が「オン」になっていると、3D映像になります。「オフ」になっていると、3D効果は得られません。

● 接続している機器やコンテンツによっては、上記の内容と違う場合があります。

オンスクリーンメニューについて

リモコン

本体

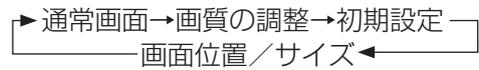
1 メニュー画面を表示する

押して選ぶ
(例：画質の調整メニュー)

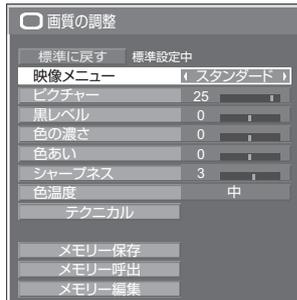


MENU 数回押す

押すたびにメニュー画面が切り換わります。



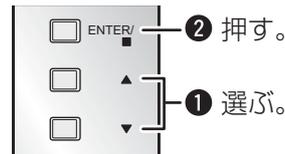
2 設定項目を選択する



(例：画質の調整メニュー)



選ぶ



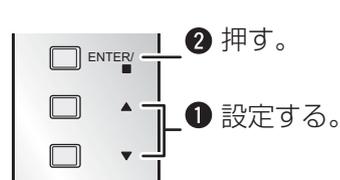
② 押す。

① 選ぶ。

3 設定する



設定する



② 押す。

① 設定する。

4 設定を終了する



押す

RETURN を押すと1つ前の画面に戻ります。

MENU 数回押す

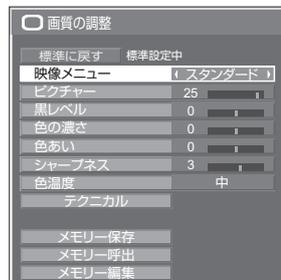
メニュー画面一覧

画面位置/サイズ



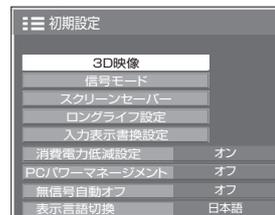
📖 26~28ページ

画質の調整



📖 29~37ページ

初期設定



📖 38~46ページ

画面位置 / サイズの調整 (POS./SIZE)

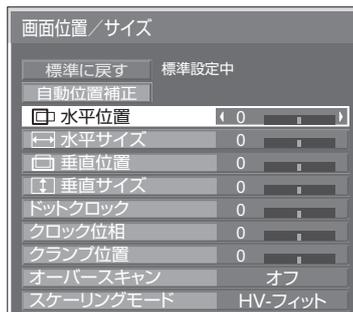
1  押して「画面位置/サイズ」メニュー画面を表示する。

2  押して設定項目を選択する。

3  押して設定をする。

4  押して設定を終了する。
 を押すと1つ前の画面に戻ります。

●「画面位置/サイズ」メニュー画面



お知らせ 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

標準に戻す  標準に戻す 標準設定中

メニュー表示中に **N** を押す、または「標準値に戻す」を選んでいるときに **OK** を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。「標準設定中」の表示は緑色になります。

自動位置補正

パソコンまたはRGB信号入力時に「水平/垂直位置」、「水平/垂直サイズ」、「ドットクロック」、「クロック位相」を自動補正します。

本設定は以下の条件で動作します。

・パソコンフォーマットの信号でない場合、「オーバースキャン」(P.27ページ)が「オフ」のときのみ本設定が有効になり、「水平/垂直サイズ」は自動補正しません。

また、次の場合には本設定は無効になり、動作しません

・画面モードが「ジャスト」や「サイドカットジャスト」のとき
・「アンダースキャン」を「オン」に設定しているとき

パソコンまたはRGB信号の映像を表示中に

「自動位置補正」を選び、**OK** () を押す。

リモコンで操作する



AUTO SETUP を押すと自動位置補正が動作します。

 位置補正が無効の場合は「無効操作」と表示します。

Autoモード

Optionsメニューの「Auto Setup」を「Auto」に設定すると、次の場合に自動位置補正が動作します。(P.48ページ)

・ディスプレイの電源を「入」にしたとき
・入力信号が切り換わったとき

お知らせ

- ドットクロック162 MHz以上の信号のときは「ドットクロック」と「クロック位相」の自動補正はされません。
- デジタルRGB信号のときは「ドットクロック」と「クロック位相」の自動補正はされません。
- 画像の端が判らないような画像や暗い画像を入力して自動位置補正をすると調整できないことがあります。このような場合は明るく境界線などが明確な画像に切り換えてから再度、自動位置補正をしてください。
- 信号によっては自動位置補正後にもズレが生じる場合がありますので、必要に応じて位置／サイズなどの微調整をおこなってください。
- 垂直周波数60Hz XGA信号（1024×768@60Hz、1280×768@60Hz、1366×768@60Hz）で自動位置補正が最適にならない場合、あらかじめ「XGAモード」(P.40ページ)で個別信号を選択設定しておくこと、適切に自動位置補正できる場合があります。
- 有効映像期間外に付加情報などの信号が重畳されている場合や同期信号と映像信号の時間間隔が短い場合、あるいは、3値同期信号が付加された映像信号などには自動位置補正はうまく動作しません。

お願い

- 自動位置補正で適切な調整にならない場合は、一度「標準に戻す」を選び、OK を押した後、手動で位置／サイズなどの調整をおこなってください。

<p>水平位置</p>	<p>画面を左右に移動します。</p> 	<p>垂直位置</p>	<p>画面を上下に移動します。</p> 
<p>水平サイズ</p>	<p>画面を左右に拡大／縮小します。</p> 	<p>垂直サイズ</p>	<p>画面を上下に拡大／縮小します。</p> 
<p>ドットクロック (PC入力時)</p>	<p>縞模様を表示した場合に、周期的な縞模様（ノイズ）が発生したときは、ノイズが少なくなるように調整してください。</p>		
<p>クロック位相 (RGB/PC入力時)</p>	<p>RGB信号やパソコン信号を入力した場合に画面の輪郭に、にじみやぼけが発生することがあります。もっと見やすくなるよう調整してください。</p>		
<p>クランプ位置 (RGB入力時)</p>	<p>映像の黒部分がつぶれている場合や、緑色になっている場合にクランプ位置を調整します。 クランプ位置調整の最適値 黒部分がつぶれている場合 →黒部分のつぶれがもっとも改善する値が最適値です。 黒部分が緑色になっている場合 →緑色部分が黒くなりつぶれていない値が最適値です。</p>		
<p>オーバースキャン</p>	<p>画像のオーバースキャンをオン／オフします。 設定が可能な信号は以下の通りです。 525i、525p、625i、625p、750/60p、750/50p、1125 (1080) /50i、60i、24sF、24p、25p、30p、50p、60p、1250 (1080) /50i (RGB、DVI、SDI、HDMI)</p>  <p>「オン」 「オフ」</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「オフ」に設定した場合は、水平サイズと垂直サイズは調整できません。 ● 「アンダースキャン」が「オン」のとき、本設定は無効になります。 		

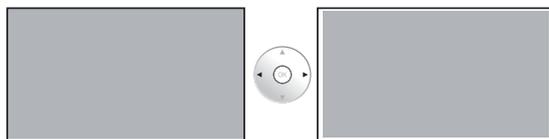
画面位置 / サイズの調整 (POS./SIZE)

アンダースキャン

画面の映像表示領域の設定をします。

- 設定値** オフ：通常の映像表示領域にします。
 オン：映像表示領域を通常の約95%にして映像端が確認できます。

「オフ」のとき全域表示 「オン」のとき画角の95%領域表示



お知らせ

- 本設定は「Options」メニューの「Studio mode」が「On」のときに設定できます。「Studio mode」が「Off」の場合、本設定は「OFF」に固定されます。(⇒48ページ)
- 設定が有効になる信号は以下の通りです。
 525i、525p、625i、625p、750/60p、750/50p、1125/60i、1125/50i、1125/24sF、1125/25p、1125/24p、1125/60p、1125/50p、1125/30p、1250/50i (RGB、DVI、SDI、HDMI)
 (DVI、SDIの対応信号は各ボードの説明書を参照ください。)
- 「オン」に設定して画面表示中は画面位置/サイズの調整は水平位置、垂直位置のみできます。

スケーリングモード

1920×1080 (16:9) の映像を4096×2160 (17:9) のディスプレイに表示するパターンを設定します。
 アスペクトのモードに応じて画像を水平・垂直拡大、サイドマスク処理をします。
 アスペクト：フルの場合

スケーリングモード	垂直拡大	水平拡大	サイドマスク	画像
H-フィット	V：16/15倍	H：16/15倍	なし	
V-フィット	V：等倍	H：等倍	有り	
HV-フィット	V：等倍	H：16/15倍	なし	

- お知らせ** 4k2k信号および2k1k信号入力時、本設定は無効になります。

- お知らせ** 調整のときに画像表示エリア外にノイズが出る場合がありますが、異常ではありません。

画質の調整 (PICTURE)

1  押して「画質の調整」メニュー画面を表示する。

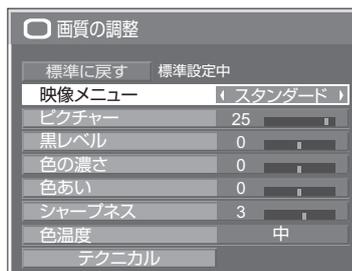
2  押して設定項目を選択する。

3  押して設定する。

4  押して設定を終了する。

RETURN  を押すと1つ前の画面に戻ります。

●「画質の調整」メニュー画面



お知らせ 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

標準に戻す 標準設定中

メニュー表示中に **(N)** を押す、または「標準値に戻す」を選んでいるときに **(OK)** を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。「標準設定中」の表示は緑色になります。

■映像メニュー

映像ソースや本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えます。

スタンダード：標準的な明るさで使用する場合に適した画像になります。

ダイナミック：明るい場所で使用する場合に適した画像になります。

シネマ：映画を見る場合に適した画像になります。
(映画館のような、暗い画面で階調性を重視した画像)

モニター：放送局や映画コンテンツの作成用途に適しています。
画面全体の平均輝度 (APL) が変化しても、同じ信号レベルであれば明るさが変化しない画像になります。

お知らせ 「映像メニュー」を「モニター」にすると、以下のメニューは設定できません。

画質の調整： ピクチャー
初期設定： 消費電力低減設定 (☞ 38ページ)
ロングライフ設定： ピーク制限 (☞ 43ページ)

■ピクチャー

映像の明暗度を調整します。



お知らせ

- 「映像メニュー」は入力端子ごとに記憶します。
- 「ピクチャー」は明るい映像のときにより明るく、また暗い映像のときにより暗く調整してもわずかしき変化しません。
- パソコン信号入力時は「色の濃さ」「色あい」は調整できません。

■黒レベル

画面の暗い部分 (黒色) を調整します。



■色の濃さ



■色あい

肌色部分の色あいを調整します。



■シャープネス

映像輪郭の鮮明度を調整します。



画質の調整 (PICTURE)

■ 色温度

画面の色調を切り換えます。

中：中間の色温度になります。

低：赤みがかった色になります。

低2：赤みがかった色になります。(6100K)

低3：赤みがかった色になります。(5600K)

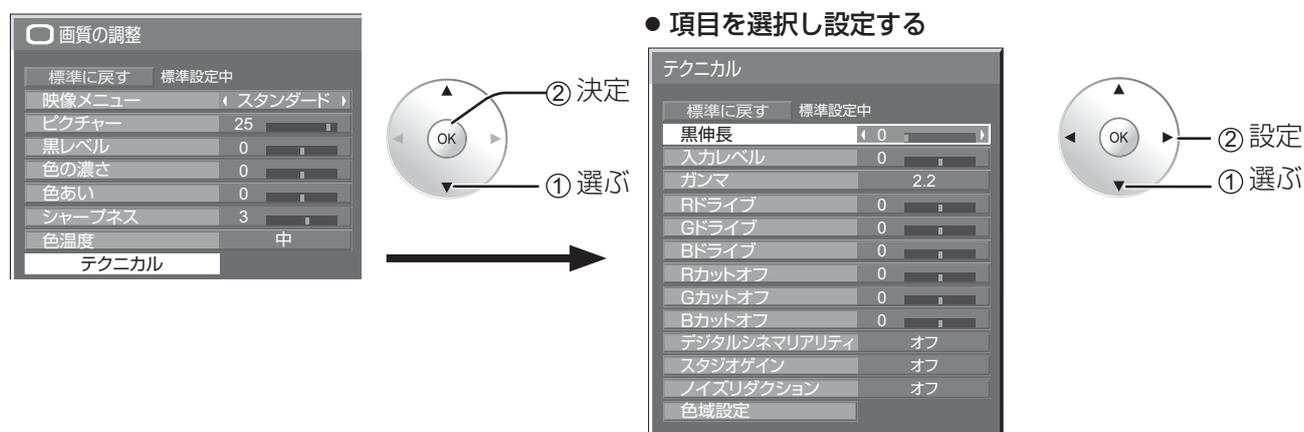
スタジオ*：スタジオで再撮する場合に適した色温度(3200 K)になります。

高：青みがかった色になります。

※「Options」メニューの「Studio mode」が「On」に設定されているときに「スタジオ」を選択できます。
(48ページ)

テクニカル調整

お好みにより、さらにきめ細かな調整を行うことができます。



お知らせ 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

標準に戻す 標準設定中

メニュー表示中に **(N)** を押す、または「標準に戻す」を選んでいるときに **(OK)** を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。「標準設定中」の表示は緑色になります。

調整項目	調整範囲	調整内容
黒伸長	0 (補正なし) ~ 8 (補正強)	中間より暗い部分の階調の変化を調整します。
入力レベル	-32 (レベル低) ~ +32 (レベル高)	特に白い部分や非常に明るい部分の映像を入力信号レベルで調整します。
ガンマ	Sカーブ 2.0 2.2 2.6	明るさ感を調整します。
Rドライブ	-120(色温度高)~+120(色温度低)	赤色の明るい部分の強弱を調整します。
Gドライブ	-120 ~ +120	緑色の明るい部分の強弱を調整します。
Bドライブ	-120(色温度低)~+120(色温度高)	青色の明るい部分の強弱を調整します。
Rカットオフ	-120(色温度高)~+120(色温度低)	赤色の暗い部分の強弱を調整します。
Gカットオフ	-120 ~ +120	緑色の暗い部分の強弱を調整します。
Bカットオフ	-120(色温度低)~+120(色温度高)	青色の暗い部分の強弱を調整します。

■ デジタルシネマリアリティ

映画フィルムで撮影された映像を忠実に再生します。

※ 通常は「オフ」に設定してください。

- お知らせ**
- デジタルシネマリアリティを「オン」にすると、映画など、毎秒24コマで撮影された動きのある映像がより自然な再生映像でご覧になれます。
 - 「オン」で不自然な映像になる場合は「オフ」でご覧ください。
 - 525i (480i)、1125 (1080) /60i、625i (575i) 信号に効果があります。

■ スタジオゲイン

画像の明るい部分が白くつぶれて見える場合（白つぶれ）に、コントラストを高めて見やすい映像にします。

オフ：スタジオゲイン機能を無効にします。

オン：スタジオゲイン機能を有効にします。（白つぶれを解消します）

お知らせ

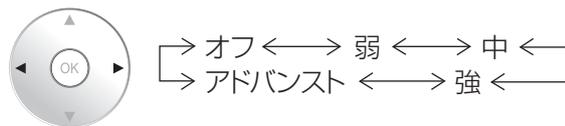
本設定は「Options」メニューの「Studio mode」が「On」のときに設定できます。「Studio mode」が「Off」の場合、本設定は「オフ」に固定されます。（[P.48](#) ページ）

- 設定が有効になる信号は以下の通りです。
RGB（アナログ）、SDI、HDMI

■ ノイズリダクション

以下の3種類のNR（ノイズリダクション）機能をまとめて設定します。

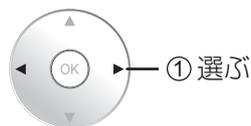
NR、モスキートNR、ブロックNR



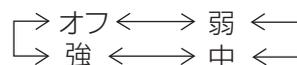
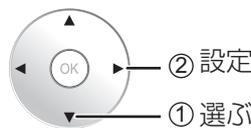
アドバンスト調整

3つのNR機能を個別に設定します。

1 「アドバンスト」を選ぶ



2 項目を選んで設定する



NR：映像のざらつき感を少なくします。

ブロックNR：MPEG映像の動画部分に現れるブロックノイズを軽減します。

モスキートNR：MPEG映像の文字部分の周辺に現れるモスキートノイズを軽減します。

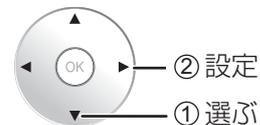
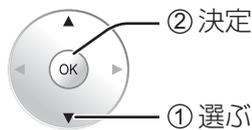
お知らせ パソコン信号入力の場合は「ノイズリダクション」がグレー表示になり設定できません。

画質の調整 (PICTURE)

色域設定

色域を信号規格BT.709の色度点へ切り換え、および微調整をします。

項目を選択し設定する



色域設定

- カラーリマスター:** 映画オリジナルの色を再現する色域に設定します。
- カスタム:** 色域調整オン、「編集」での色域調整が反映されます。
- ネイティブ:** 色域調整オフ、パネル本来の色域で映像を表示します。
- HDTV COLOR:** 色域を信号規格BT.709の色度点へ切り換えます。

お知らせ

- 本設定は、入力端子および「映像メニュー」毎に記憶されます。
- 3D映像時、本設定は「ネイティブ」になり、設定できなくなります。

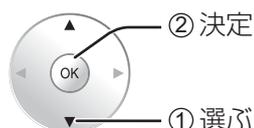
編集

色域を微調整します。

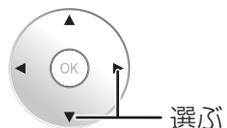
お知らせ

- 本設定は、「色域設定」が「カスタム」の場合に有効です。
- 本設定は、入力端子および「映像メニュー」毎に記憶されます。

1 「編集」を選ぶ。



2 調整項目を選ぶ。



3 数値を変更する

65535

[▲▼で調整する場合]

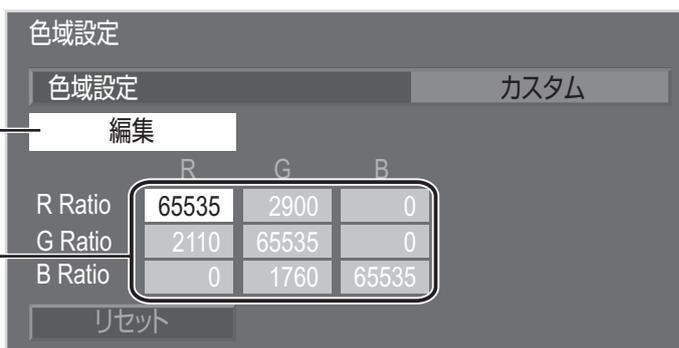
- ① **OK** を押す。
- ② ▲▼ で数値を変更する。
- ③ **OK** を押す。

[数値を直接入力する場合]

- ① **0** ~ **9** で数値を入力する。
- RETURN** (↵) を押すと数値が元に戻ります。
- ② **OK** を押す。

4 **RETURN** (↵) を押す。

調整を終了します。



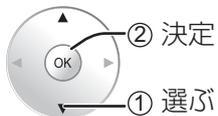
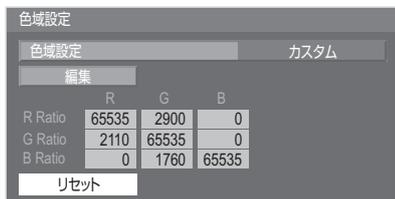
■ リセット

色域の調整値をリセットします。

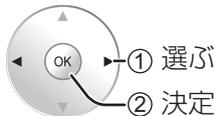
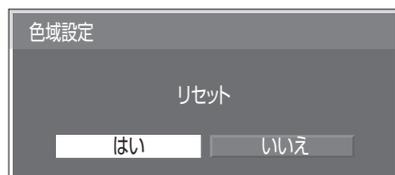
○お知らせ

本設定は、選択している入力端子および「映像メニュー」に反映されます。

1 「リセット」を選ぶ。



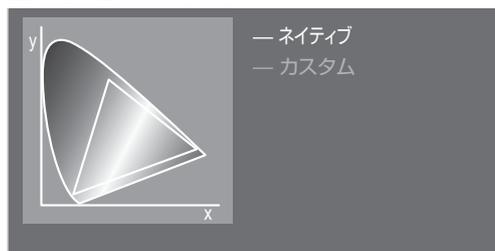
2 「はい」を選ぶ。



■ 色度図

「カスタム」設定時に、現在の色域を表すRGBの三角形を表示します。

色域設定: カスタム



白線: ネイティブ設定時の色域 (パネル本来の色域)

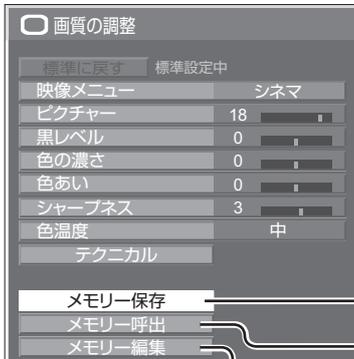
黄色い線: カスタム設定時の色域 (現在の色域)

メモリー機能を使う

16通りの映像調整値（「画質の調整」メニューと「テクニカル」）をメモリーに保存し、必要なときに呼び出してお気に入りの映像をお楽しみいただけます。

お知らせ

- メモリーの保存時と呼び出し時で設定項目（「画質の調整」メニューと「テクニカル」）が異なる場合、その設定項目はメモリー呼び出し時に反映されない場合があります。

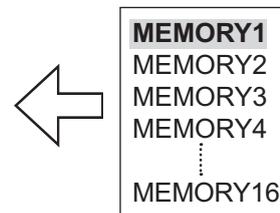
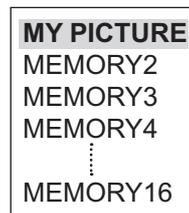


メモリー保存 (☞ 35ページ)
 メモリー呼び出し (☞ 36ページ)
 メモリー編集 (☞ 37ページ)



メモリー保存 ↓ 映像調整値を MEMORY1に保存する

メモリー編集
 削除、名前の変更



メモリー呼び出し ↓ MEMORY1を呼び出す

オリジナル映像



カスタム映像



メモリーを保存する

映像調整値をメモリーに保存します。

お知らせ 「ロングライフ設定」で設定ロック中のとき、メモリーの保存はできません。

1 「画質の調整」メニューと「テクニカル」で、画質を設定する。(P.29・30ページ)

2 「画質の調整」メニューで「メモリー保存」を選ぶ。

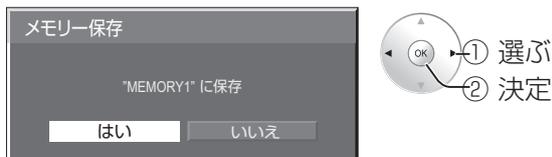


3 映像調整値を保存するメモリー名を選ぶ。



すでに映像調整値が保存されているメモリーには「*」が表示されます。

4 「はい」を選ぶ。



5 メモリー名を入力する。

【メモリー名の入力方法】

メモリー名は最大40文字まで設定できます。画面上に表示されたキーボードで文字を選んで文字を入力します。文字入力ボックスには、すでにメモリー名が入力されています。必要に応じてメモリー名を変更してください。



例：「MY PICTURE」に設定する

① 「全削除」を選ぶ。

文字が全て削除されます。

文字を1文字削除するには「1文字削除」を選びます。

② 「M」を選ぶ。

この操作を繰り返し、文字を入力します。

③ 「Y」を選ぶ。

④ 「空白」を選ぶ。

6 メモリー名の入力が終わったら「確定」を選ぶ。「キャンセル」を選ぶとメモリーの保存をキャンセルします。



メモリー機能を使う

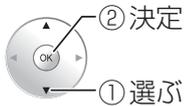
メモリーを呼び出す

メモリーを呼び出し、ディスプレイに映像調整値を適用します。

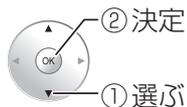
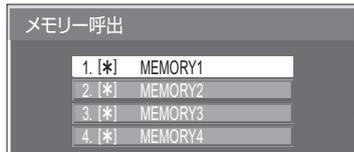
お知らせ 呼び出したメモリーは選択されている入力端子ごとに記憶されます。

<画質の調整メニューからメモリーを呼び出す>

- 1 「画質の調整」メニューで「メモリー呼出」を選ぶ。



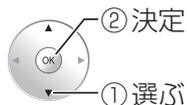
- 2 呼び出すメモリーを選ぶ。



<リモコンのMEM LOADでメモリーを呼び出す>

- 1 MEM LOAD を押してメモリー一覧を表示する。

- 2 呼び出すメモリーを選ぶ。

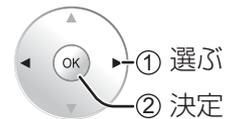
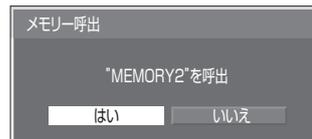


<リモコンのダイレクト操作でメモリーを呼び出す>

1～9番のメモリーを呼び出す場合

- 1 **1**～**9** のいずれかを押す。

- 2 「はい」を選ぶ



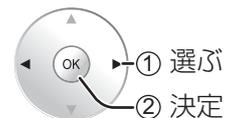
10～16番のメモリーを呼び出す場合
例: 16番のメモリーを呼び出す

- 1 **16** の順に押す

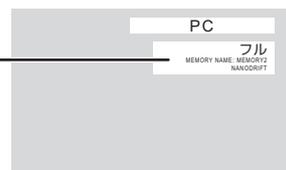
画面の右上に、メモリー番号が表示されます。



- 2 「はい」を選ぶ



メモリーを呼び出しているときは
メモリー名を表示します。



メモリーを編集する

メモリーを削除またはメモリー名を変更します。

■メモリーを削除する

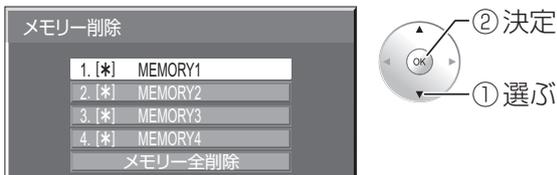
1 「画質の調整」メニューで「メモリー編集」を選ぶ。



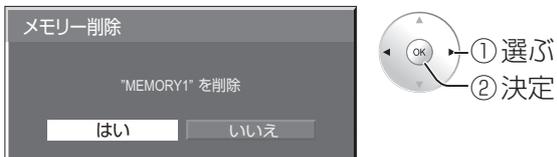
2 「メモリー削除」を選ぶ。



3 削除するメモリーを選ぶ。
全てのメモリーを削除するには「メモリー全削除」を選びます。



4 「はい」を選ぶ。



■メモリー名を変更する

1 「画質の調整」メニューで「メモリー編集」を選ぶ。



2 「メモリー名変更」を選ぶ。



3 名前を変更するメモリーを選ぶ。



4 メモリー名を入力する。
メモリー名の入力方法
☞ 35ページ



5 メモリー名の入力が終わったら
「確定」を選ぶ。

「キャンセル」を選ぶとメモリー名の変更をキャンセルします。



初期設定 (SET UP)

1  押して「初期設定」メニュー画面を表示する。

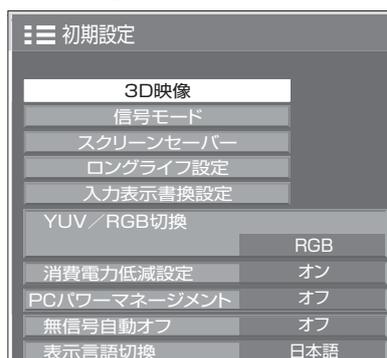
2  押して設定項目を選択する。

3  押して設定する。

4  押して設定を終了する。

 を押すと1つ前の画面に戻ります。

● 初期設定メニュー画面



初期設定	
3D映像	
信号モード	
スクリーンセーバー	
ロングライフ設定	
入力表示書換設定	
YUV / RGB切換	
	RGB
消費電力低減設定	オン
PCパワーマネージメント	オフ
無信号自動オフ	オフ
表示言語切換	日本語

YUV / RGB切換

本メニューは、DVI-D端子ボード (TY-FB11DD) が装着されている場合に表示されます。

YUV ← → RGB

選択したスロットのDVI入力信号の方式に合わせて設定します。

YUV: YUV信号

RGB: RGB信号

消費電力低減設定

「オン」にすると本ディスプレイパネルの発光レベル (APL) を抑えて消費電力を低減します。

オン ← → オフ

PCパワーマネージメント (DPMS機能)

オフ ← → オン

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入/切します。

PC IN入力時に約30秒間、映像 (HD/VD同期信号) が検知されないとき

→ 電源「切」 (スタンバイ) 電源ランプ: 橙色点灯

その後、映像 (HD/VD同期信号) が検知されると

→ 電源「入」 電源ランプ: 緑色点灯

お知らせ

● PC IN入力時のみ動作します。

● 「信号モード」の「同期」が「オート」のときのみ動作します。(P. 40ページ)

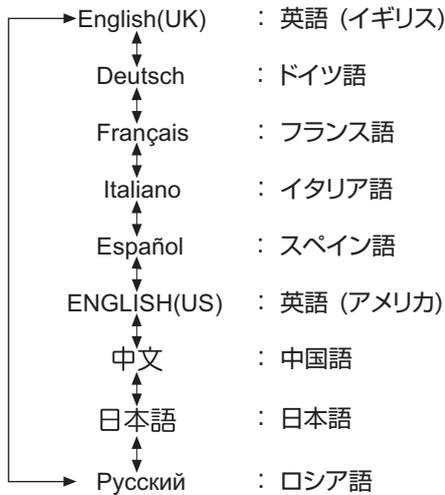
無信号自動オフ

オフ ← → オン

「オン」にすると、約10分間入力同期信号が無いと自動的に電源が切れます。

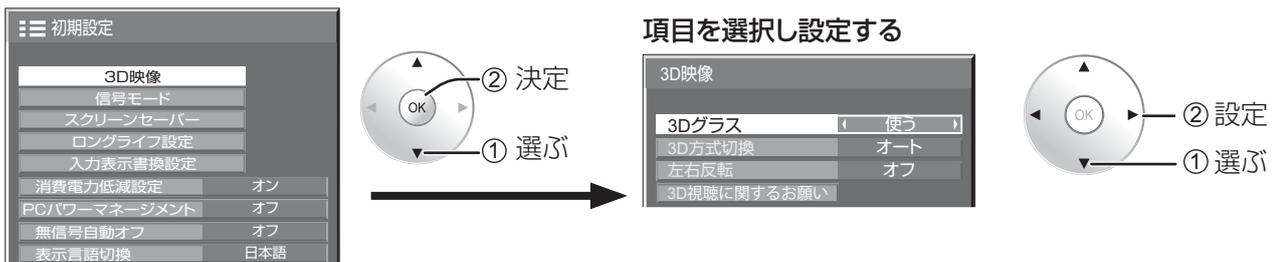
表示言語切換

選択された言語で各種メニューや設定、調整画面などを表示します。



3D映像

3D映像が正しく表示されないとき、または違和感を感じるときに設定します。



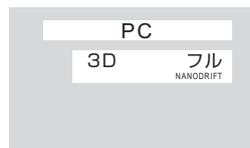
■ 3Dグラス

使う ↔ 使わない

使う: 3Dグラスを使用する。映像信号が3Dなら3D映像、2Dなら2D映像になります。

使わない: 3Dグラスを使用しない。3D映像は2D映像になります。

「使う」に設定すると3D映像時に「3D」と表示します。



■ 3D方式切換

3Dの映像方式を設定します。

オート: 3D映像信号を受信したときに、自動的に3D映像に切り換えて表示します。

サイドバイサイド／トップアンドボトム: 「オート」で3D映像が正しく表示されないとき、3D映像の方式に合わせて設定できます。

2D: 2D映像で表示します。3D映像は正しく表示されません。

■ 左右反転

オフ ↔ オン

映像の左右が切り換わるタイミングと3Dグラスの左右のシャッターが切り換わるタイミングを補正します。

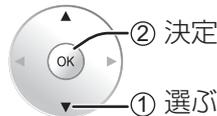
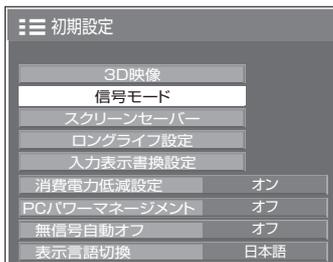
3Dグラスを装着して見ている3D映像に違和感を感じる時、「オン」に切り換えてください。

■ 3D視聴に関するお願い

3D映像を視聴する際の注意文を表示します。

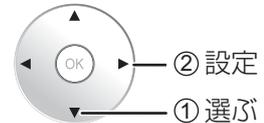
初期設定 (SET UP)

信号モード

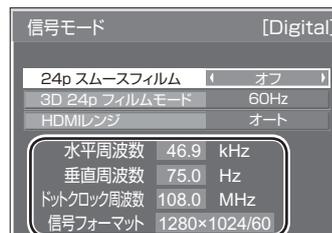


項目を選択し設定する

RGB / パソコン信号入力時



デジタル信号入力時



入力信号表示(RGB/パソコン、デジタル信号入力時)

現在入力している信号の周波数と信号の種類を表示します。

表示範囲：水平走査周波数(15 kHz ~ 110 kHz)

垂直走査周波数(48 Hz ~ 120 Hz)

デジタル信号入力時には、ドットクロック周波数を表示します。

お知らせ

「信号モード」設定メニューは入力信号によって異なります。

■ XGAモード

本メニューは、アナログ信号(PC)入力時に表示されます。

本機は、画角/サンプリングが異なる3種類の垂直周波数60Hz XGA信号(1024×768@60Hz、1280×768@60Hz、1366×768@60Hz)に対応しています。

AUTO ↔ 1024×768 ↔ 1280×768 ↔ 1366×768

オート: 1024×768/1280×768/1366×768の中から自動選択します。画角や解像度の表示状態によっては、より適切で見やすい表示になるように、入力信号に合わせて設定を切り換えてください。

お知らせ 本設定をおこなった後は、必要に応じて「画面位置/サイズ」メニューの各調整(「自動位置補正」など)をおこなってください。(P.26ページ)

■ 同期

本機能はPC IN入力時に動作します。

● RGB / パソコン信号入力時

オート ↔ ON G ↔ VBS

オート: HD/VD入力/SYNC ON Gが自動で切り換わります。

HD/VD入力/SYNC ON G両方に同期がある場合はHD/VD入力が優先されます。CS信号を接続する場合は、HD入力端子に接続してください。

ON G: HD/VD入力/SYNC ON G両方に同期が入る場合で、SYNC ON Gで同期を取りたい場合に選択します。

VBS: HD入力端子にコンポジット(VBS)信号を同期として接続する場合に選択します。例)同期のないR/G/B映像信号とVBS信号を出力する機器を本機に接続する場合、VBS信号をHD入力端子に接続しVBSを選択します。

■ SDIスルー

本メニューはDual Link HD-SDI端子ボード(TY-FB11DHD)を装着したスロットを選択している時のみ設定できます。Dual Link HD-SDI端子ボード(TY-FB11DHD)のアクティブスルー機能を設定します。

オフ ↔ オン

オフ: アクティブスルーが無効になります。

オン: アクティブスルーが有効になります。

■ フレームクリエーション

50Hz/25Hz信号入力時にちらつき感を抑えた映像にします。

オフ ↔ オン

お知らせ

本機能は、2D映像で50Hz/25Hz信号入力時のみ動作します。

■ 24p スムースフィルム

2Dまたは3D映像時、毎秒24コマで撮影された映像を滑らかに表示します。

オフ ↔ オン

お知らせ

本機能は、2Dまたは3D映像で24p信号入力時のみ設定できます。

■ 3D 24p フィルムモード

3D映像時、毎秒24コマで撮影された映像を設定します。

60Hz ↔ 48Hz

60Hz: コマ数を増やして、動きの自然な映像を再現します。

48Hz: フィルム特有の質感に近い映像で再現します。

お知らせ

本機能は、3D映像で24p信号入力時のみ設定できます。

■ HDMIレンジ

HDMI 1～2端子の入力信号に応じてダイナミックレンジを切り換えます。

ビデオ(16-235) ↔ フル(0-255) ↔ オート

ビデオ(16-235): 入力信号がビデオレンジの場合。例: DVDプレーヤーのHDMI端子出力

フル(0-255): 入力信号がフルレンジの場合。例: パソコンのHDMI端子出力

オート: 入力信号に応じて自動でダイナミックレンジを「ビデオ(16-235)」または「フル(0-255)」に切り換えます。

お知らせ

本機能は、HDMI 1～2端子入力時のみ設定できます。

■ SDI信号フォーマット

本設定は、4K SDI IN端子入力時のみ設定できます。

4K SDI IN端子に入力される信号フォーマットを設定します。

3,840/30p または 3,840/24p信号の場合

オート ↔ YCbCr(4:4:4) 10bit ↔ RGB(4:4:4) 10bit ↔ YCbCr(4:2:2) 12bit

↔ YCbCr(4:4:4) 12bit ↔ RGB(4:4:4) 12bit

4,096/24p信号の場合

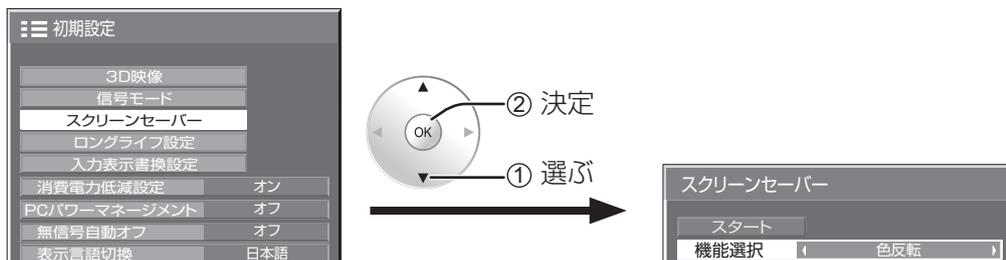
オート ↔ RGB(4:4:4) 12bit ↔ XYZ(4:4:4) 12bit

オート: 入力信号に応じて信号フォーマットを自動選択します。

初期設定 (SET UP)

スクリーンセーバー

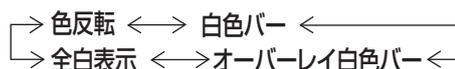
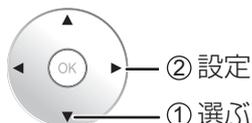
静止画や4:3表示画像を長時間映す場合に残像（焼き付き現象）の発生を軽減します。



スクリーンセーバーの設定

1 スクリーンセーバーの動作を設定する

「機能選択」で動作したい機能を選択します。

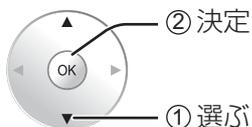


- 色反転** : 白黒反転した映像にして、画面の残像を軽減します。
白色バー : 白色バーが一定間隔で画面の左から右側へスクロール表示します。映像はディスプレイに映りません。
オーバーレイ白色バー : 映像を暗くして、その上に白色バーがスクロール表示します。
全白表示 : ディスプレイ全面に全白パターンを表示します。

お知らせ 4k2k信号入力時は、「白色バー」と「全白表示」のみ選択できます。

2 スクリーンセーバーをスタートする

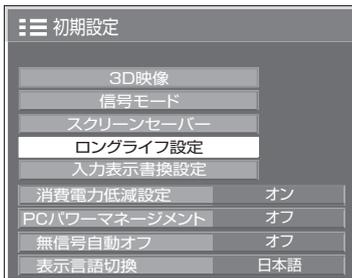
「スタート」を選択します。



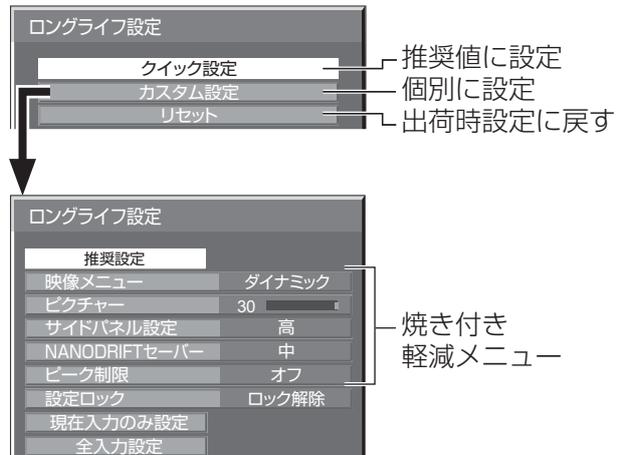
- お知らせ**
- スクリーンセーバー動作中に何れかのボタンを押すとスクリーンセーバーが解除されます。
 - ディスプレイの電源を「切」にすると、スクリーンセーバーは解除されます。

ロングライフ設定

画面の焼き付きを軽減するための各種設定を行います。



●「ロングライフ設定」サブメニュー画面



■焼き付き軽減メニュー

「ロングライフ設定」は、次の5つのメニュー（焼き付き軽減メニュー）を推奨値に設定したり、個別に設定できます。

映像メニュー

ピクチャー

「映像メニュー」と「ピクチャー」は「画質の調整」メニューと同じです（☞ 29ページ）。本メニューで設定した内容は「画質の調整」メニューに反映されます。

サイドパネル設定

画面モードを「ノーマル」（映像の横縦比4：3）で長時間ご覧になると、映像の表示部と両端の映らない部分とで画面の明るさが異なるため、残像（焼き付き現象）が発生します。サイドパネルを表示することで残像発生を軽減できます。

オフ：両端を暗くしておく。

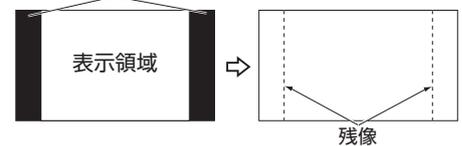
低：暗めの灰色にする。

中：灰色にする。

高：明るめの灰色にする。

お知らせ 残像発生の軽減のため「高」にしてご覧になることをおすすめします。

暗い部分(サイドパネル)



初期設定 (SET UP)

NANODRIFTセーバー

画面の表示位置をわずかに移動させて、ディスプレイパネルの焼き付きを軽減します。

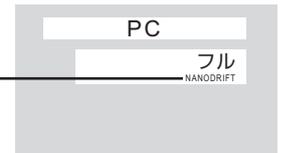
弱～強：NANODRIFTセーバーが動作します。一定の時間間隔で画面の表示位置移動を行います。画面の移動範囲を設定できます。この動作により、画面の一部が欠けて見える場合があります。

設定値を変更すると、位置移動によって画像が欠ける範囲をマスク表示します。

※ 4k2k信号入力時は、マスク表示はしません。



焼き付き軽減機能「NANODRIFT」動作中は「NANODRIFT」と表示します。



ピーク制限

オン：ディスプレイパネルの焼き付き軽減のため、映像コントラスト（ピーク輝度）を抑えます。

お知らせ 長い時間、静止画を見ていると画面が少し暗くなる場合があります。(P.53ページ)

■ クイック設定

焼き付き軽減のメニューを次の推奨値に設定します。また、すべてのメニューにロックが掛かります。

映像メニュー：スタンダード

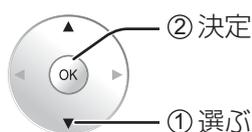
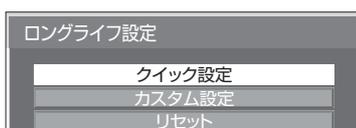
ピクチャー：機種毎に設定された推奨値

サイドパネル設定：高

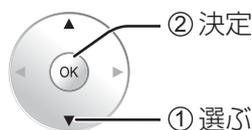
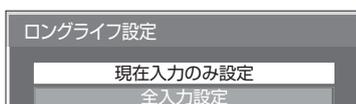
NANODRIFTセーバー：中

ピーク制限：オン

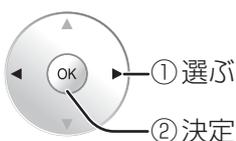
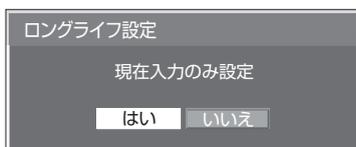
1 「クイック設定」を選ぶ。



2 設定を保存する入力を選ぶ。



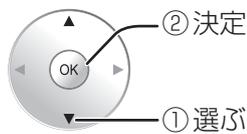
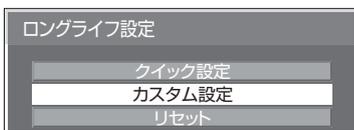
3 「はい」を選ぶ。



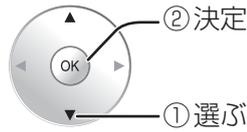
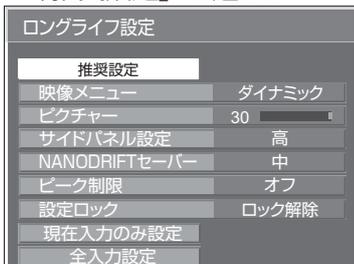
■ カスタム設定

焼き付き軽減のメニューを個別に設定します。

1 「カスタム設定」を選ぶ。

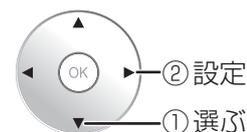
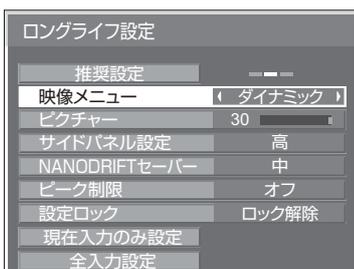


2 各メニューを推奨値に設定する場合「推奨設定」を選ぶ。

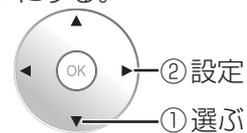
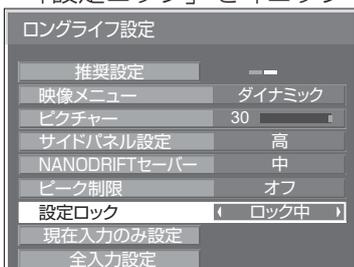


各メニューは「クイック設定」と同じ設定値になります。

3 各メニューを設定する。



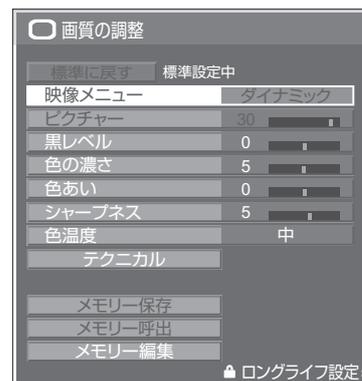
4 各メニューの設定をロックする場合「設定ロック」を「ロック中」にする。



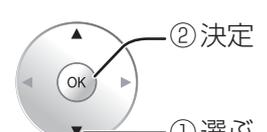
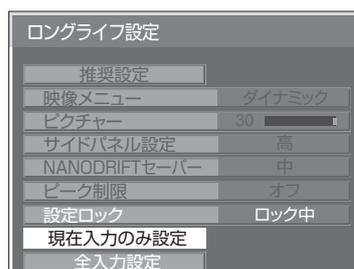
ロックが掛かると、各メニューはグレー表示になり、設定できなくなります。

「映像メニュー」と「ピクチャー」は、「画質の調整」メニューでも設定できなくなり、ロック設定を示すアイコンが表示されます。

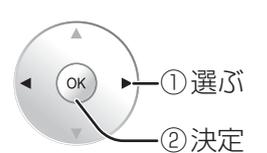
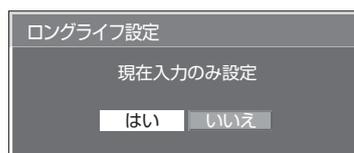
また、「標準に戻す」、「メモリー保存」および「メモリー呼出」もできません。



5 設定を保存する入力を選ぶ。



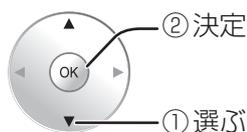
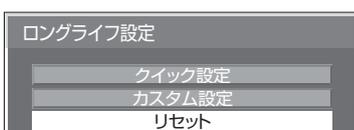
6 「はい」を選ぶ。



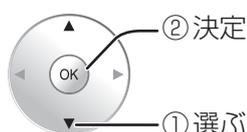
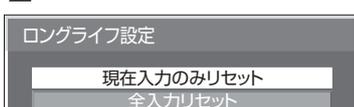
■ リセット

焼き付き軽減のメニューを工場出荷時の状態に戻します。また、各メニューのロックが解除されます。

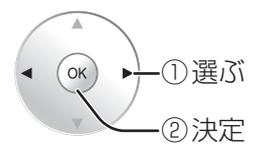
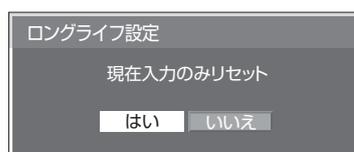
1 「リセット」を選ぶ。



2 設定をリセットする入力を選ぶ。



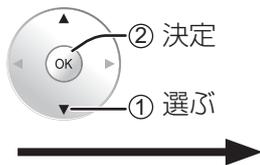
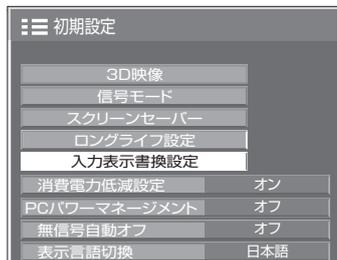
3 「はい」を選ぶ。



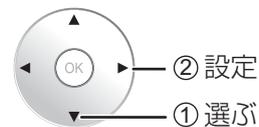
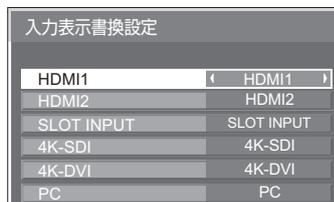
初期設定 (SET UP)

入力表示書換設定

入力端子に接続した機器に合わせて表示名を変更します。



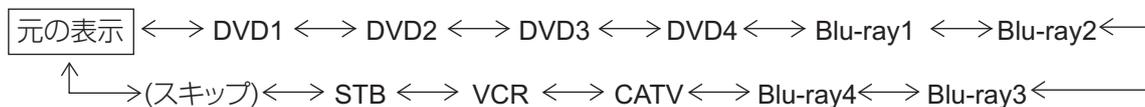
入力端子を選び、信号名を設定する。



お知らせ

設定項目は、「入力信号を切り換える」(p. 20ページ)の入力端子一覧と同じです。

◀ または ▶ を押すたびに入力表示が次のように切り換わります。



(スキップ) :  を押したときに入力を飛び越して表示します。

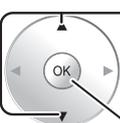
オプション (Options) メニュー

本機は設置場所や用途に合わせて使用される場合に便利な特殊機能を備えています。

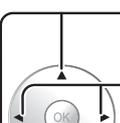
1  押して「初期設定」メニュー画面を表示する。

2  ① 押して「表示言語切換」を選択する。

② 3秒以上押す

3  ① 押して「Options」を選択する。

② 押して「Options」メニューを表示する。

4  ① 押して設定項目を選択する。

② 押して設定する。

5  押して設定を終了する。



Options	
Onscreen display	On
Initial input	Off
Input lock	Off
Button lock	Off
Remocon User level	Off
Off-timer function	Enable
Aspect mode	Mode1
Auto Setup	Manual
Studio mode	Off
Function button assign 1	3D settings
Function button assign 2	Scrolling bar
Function button assign 3	Test patterns
Function button assign 4	Blue only
H-Position	0
V-Position	0
3D Safety Precautions	On

- お知らせ**
- 「オプション (Options)」メニューの操作はすべてリモコンで行います。本体の操作ボタンではできません。
 - オプションメニューの言語は英語表示のみです。

Onscreen display (オンスクリーン表示)

電源オン表示、入力切替表示、無信号表示、 を押した後のオフタイマー残り時間表示、オフタイマー 3分前の残時間表示を行わなくすることができます。

設定値 On : 表示にします。
Off : 非表示にします。

Initial input (スタート入力設定)

電源「入」時の入力を設定します。

設定値 Off、HDMI1、HDMI2、SLOT INPUT*、4K-SDI、4K-DVI、PC
※「SLOT INPUT」は、端子ボード装着時に表示されます。

お知らせ

「Input lock」が「Off」以外の場合は、グレー表示になり設定できません。(P.47ページ)

Input lock (入力切替固定)

入力を固定して「入力切替」操作をできなくします。

設定値 Off、HDMI1、HDMI2、SLOT INPUT*、4K-SDI、4K-DVI、PC
※「SLOT INPUT」は、端子ボード装着時に表示されます。

お知らせ

「Off」以外に設定すると、すぐに入力切替操作ができなくなります。

Button lock (ボタン操作制限)

本体のボタン操作を制限します。

設定値 Off : ボタン操作を制限しません。

MENU & ENTER : MENU と ENTER/ 操作はできません。

On : すべてのボタン操作はできません。

Button lockは、次の手順で本体のボタンを操作して設定できます。

Off : ▲ を4回押す → INPUT を4回押す → ▼ を4回押す → ENTER/ を押す

MENU & ENTER :

ENTER/ を4回押す → ▲ を4回押す → INPUT を4回押す → ENTER/ を押す

On : ▼ を4回押す → ENTER/ を4回押す → ▲ を4回押す → ENTER/ を押す

オプション (Options) メニュー

Remocon User level(リモコン操作制限)

リモコンのボタン操作を制限します。

- 設定値** Off : ボタン操作を制限しません。
- User 1: 、、、、、、、、 以外のボタン操作はできません。
- User 2:  以外のボタン操作はできません。
- User 3: すべてのボタン操作はできません。

Off-timer function (オフタイマー機能)

オフタイマー機能を有効/無効の設定をします。

- 設定値** Enable : オフタイマー機能を有効にします。
Disable : オフタイマー機能を無効にします。

お知らせ

オフタイマー設定時は「Disable」にするとオフタイマーが解除されます。

Aspect Mode (画面モード切り換え)

ASPECT  を押した時のアスペクト切り換えパターンを3つのモードから設定します。

- Mode 1 : 欧州や中国などの地域に適したアスペクト (PAL/SECAMシステム)
Mode 2 : 日本や北米などの地域に適したアスペクト (NTSCシステム)
All aspect : 全画面モード切替仕様

Auto Setup (自動位置補正)

「画面位置/サイズ」メニューの自動位置補正の動作モードを設定します。

- 設定値** Manual : リモコンの  を押したときや「画面位置/サイズ」メニューで自動位置補正を実行したときに動作する。
- Auto : リモコン、メニューでの操作以外に、次の場合に自動位置補正が動作します。
●ディスプレイの電源を「入」にしたとき
●入力信号が切り変わったとき

Studio mode (スタジオモード設定)

テレビスタジオ用途の各設定メニューの機能を切り換えます。

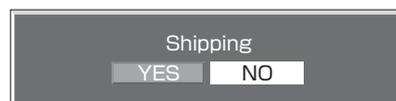
	Studio mode: On	Studio mode: Off
色温度	「スタジオ」を選択できる	「スタジオ」を選択できない
スタジオゲイン	オン/オフを切り換えできる	設定不可 (オフに固定)
アンダースキャン	オン/オフを切り換えできる	設定不可 (オフに固定)

ボタン操作制限、リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには

「Button lock」「Remocon User level」の設定を行ない、リモコンと本体のボタンで本機の操作ができなくなったときに、設定を「Off」に戻し操作ができるようにします。

本体のボタン  とリモコン  を同時に5秒以上押す

「Shipping」メニューを表示した後、表示が消えロックが解除されます。



- 「Button lock」「Remocon User level」の設定が「Off」に戻ります。

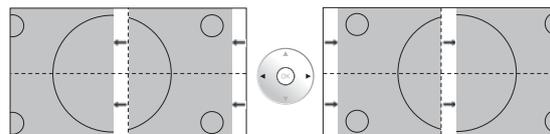
Function button assign 1 ~ 4 (ボタン機能設定)

    を押したときに動作する機能を設定します。

- 3D settings : 「3D映像」メニューを表示します。
Scrolling bar : スクリーンセーバーが動作し、15分後にディスプレイの電源が切れます(スタンバイ)。
Test patterns : 7種類のテストパターンを切り替えて表示します。
Blue only : 映像調整用の青色1色の表示になります。
Signal : 「信号モード」メニューを表示します。

H-Position (4k2k水平位置調整)

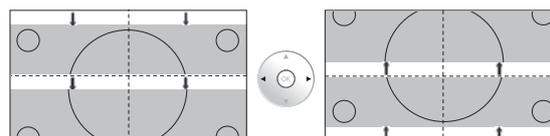
4k2k信号入力時、画像の水平位置を調整します。



4分割画像が、それぞれ水平方向に移動します。

V-Position (4k2k垂直位置調整)

4k2k信号入力時、画像の垂直位置を調整します。

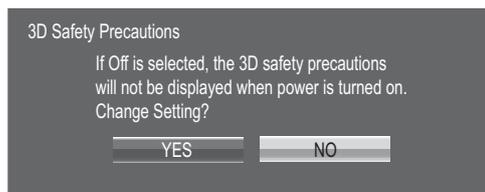


4分割画像が、それぞれ垂直方向に移動します。

3D Safety Precautions (3D警告メッセージ)

電源ON時の3D警告メッセージの表示/非表示を設定します。

- On : 電源ON毎に3D警告メッセージを表示します。
Off : 電源ON時に3D警告メッセージを表示しません。
「On」から「Off」に設定する場合、下の確認画面が表示されます。「YES」を選ぶと設定が切り換わります。



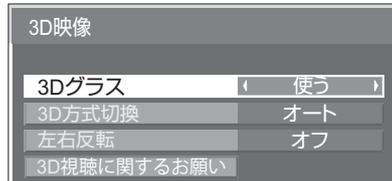
FUNCTION ボタンを使う

リモコンのFUNCTIONボタンを押すと次の5つの機能の何れかが動作します。機能の設定はオプション(OPTIONS)メニューの「Function button assign 1」～「Function button assign 4」で行います。(☞ 48ページ)



3D映像 / 信号モード

メニュー画面を表示します。(例: 3D映像)

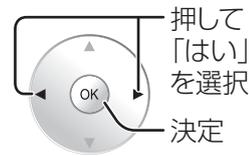
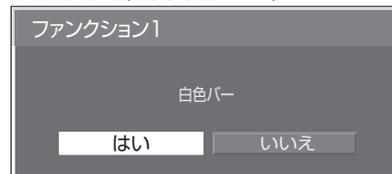


FUNCTIONボタンを押すとメニューが消えます。

白色バー / テストパターン / ブルーオンリー



確認画面(例: 白色バー)



動作を開始します。

白色バー

スクリーンセーバー(白色バー)が動作し、15分後にディスプレイはスタンバイモードになります。



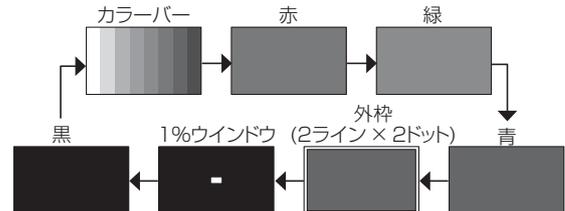
解除するには何れかのボタンを押します。

ブルーオンリー

映像調整用の青色1色の表示になります。解除するにはFUNCTIONボタンを押します。

テストパターン

OK を押すたびに7種類のテストパターンを切り換えて表示します。

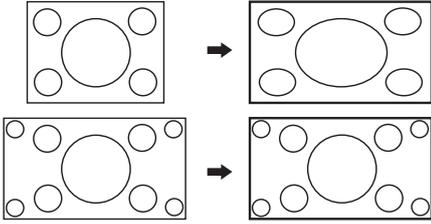
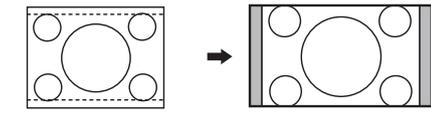
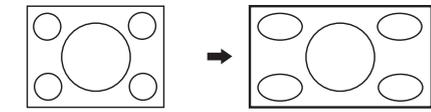
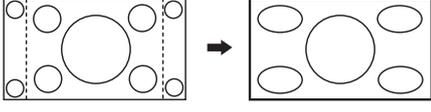
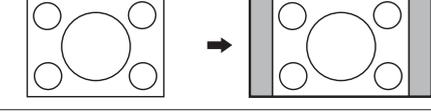
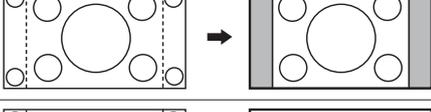
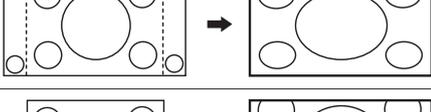
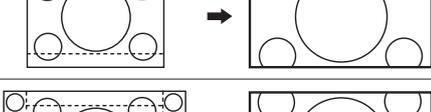
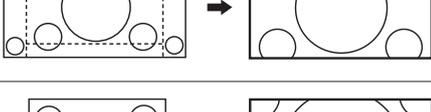
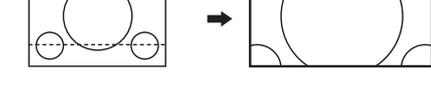


解除するには OK 以外の何れかのボタンを押します。

お知らせ

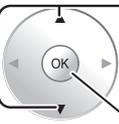
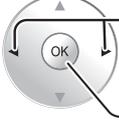
「白色バー」または「テストパターン」動作中は、「PCパワーマネージメント」および「無信号自動オフ」は動作しません。(☞ 38ページ)

画面モード一覧

Aspect Mode			映像 → 拡大画面	説明
All Aspect	Mode1 工場出荷時	Mode2		
16:9	フル	フル		映像を画面いっぱいに表示します。SD信号の場合は4:3の映像を横方向に拡大します。16:9のアナモフィック映像を表示するのに適しています。
14:9	14:9	—		14:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大します。垂直は画面いっぱいに、水平は画面より少し小さめに表示します。映像の上下端はカットされます。画面の両端にはサイドパネルを表示します。
Just ----- Just1	ジャスト	ジャスト		4:3の映像を横方向に拡大し、違和感の少ない映像にします。画面の左右周辺は少し伸びた表示になります。
Just2	—	サイド カット ジャスト		4:3の映像を横方向に拡大し、違和感の少ない映像にします。映像の左右端はカットされます。画面の左右端周辺は少し伸びた表示になります。
4:3 ----- 4:3 (1)	ノーマル	ノーマル		4:3映像をそのまま表示します。画面の両端にはサイドパネルを表示します。
4:3 (2)	—	サイド カット ノーマル		4:3の映像をそのまま表示します。映像の両端はサイドパネルでマスクされます。
4:3 Full	サイド カットフル	サイド カットフル		4:3の映像を横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の左右端はカットされます。
Zoom ----- Zoom1	ズーム1	ズーム		16:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端はカットされます。
Zoom2	ズーム2	サイド カット ズーム		16:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端および左右端はカットされます。
Zoom3	ズーム3	—		2.35:1のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、垂直は画面いっぱいに、水平は画面より少し大きめに表示します。映像の上下端および左右端はカットされます。

工場出荷時の設定に戻すには

「画質の調整」「初期設定」「画面位置/サイズ」「テクニカル」「オプション」メニューの設定、調整値を以下の操作で工場出荷時の状態に戻します。

リモコン操作	本体操作
1  押して「初期設定」メニュー画面を表示する。	<input type="checkbox"/> MENU を数回押す
2  <ul style="list-style-type: none"> ① 押して「表示言語切換」を選択する。 ② 3秒以上押す。 	<input type="checkbox"/> ▼ または <input type="checkbox"/> ▲ を押す。
3  <ul style="list-style-type: none"> ① 押して「Shipping」を選択する。 ② 押して「Shipping」画面を表示する。 	<input type="checkbox"/> ENTER / <input type="checkbox"/> を5秒以上押す。
4  <ul style="list-style-type: none"> ① 押して「YES」を選択する。 ② 押す。 	<input type="checkbox"/> ▲ ① 押す。 <input type="checkbox"/> ENTER / <input type="checkbox"/> ② 押す。

お願い 手順4の操作後は10秒以上、他の操作をしないでください。その後、一度、電源を「切」にしてください。

表示可能な入力信号

* : 表示可能な入力信号

	信号名	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	SDI IN 4k2k	DVI-D IN 4k2k	PC IN (Dot clock (MHz))	HDMI 1/2	SLOT DVI-D IN (Dot clock (MHz))
1	525 (480) / 60i	15.73	59.94			* (13.5)	*	
2	525 (480) / 60p	31.47	59.94			※5	*	* (27.0)
3	625 (575) / 50i	15.63	50.00			* (13.5)		
4	625 (576) / 50i	15.63	50.00				*	
5	625 (575) / 50p	31.25	50.00			* (27.0)		
6	625 (576) / 50p	31.25	50.00				*	* (27.0)
7	750 (720) / 60p	45.00	60.00			* (74.25)	*	* (74.25)
8	750 (720) / 50p	37.50	50.00			* (74.25)	*	* (74.25)
9	1,125 (1,080) / 60i	33.75	60.00			* (74.25) ※1	*	* (74.25)
10	1,125 (1,080) / 50i	28.13	50.00			* (74.25) ※1	*	* (74.25)
11	1,125 (1,080) / 60p	67.50	60.00	* ※7	* ※7	* (148.5) ※1	*	* (148.5)
12	1,125 (1,080) / 50p	56.25	50.00	* ※7		* (148.5) ※1	*	* (148.5)
13	1,125 (1,080) / 30p	33.75	30.00	* ※7		* (74.25) ※1		* (74.25)
14	1,125 (1,080) / 25p	28.13	25.00			* (74.25) ※1		* (74.25)
15	1,125 (1,080) / 24p	27.00	24.00	* ※7		* (74.25) ※1	*	* (74.25)
16	1,125 (1,080) / 24sF	27.00	48.00			* (74.25) ※2		
17	1,250 (1,080) / 50i	31.25	50.00			* (74.25) ※3		
18	2,048 × 1,080 / 24p ※6	27.00	24.00	* ※7				
19	2,048 × 1,080 / 24sF ※6	27.00	48.00					
20	2,048 × 1,080 / 60p	67.50	60.00	* ※7	* ※7			
21	640 × 400 @ 70Hz	31.46	70.07			* (25.17)		
22	640 × 480 @ 60Hz	31.47	59.94			* (25.18) ※5	*	* (25.18)
23	640 × 480 @ 72Hz	37.86	72.81			* (31.5)		
24	640 × 480 @ 75Hz	37.50	75.00			* (31.5)		
25	640 × 480 @ 85Hz	43.27	85.01			* (36.0)		
26	800 × 600 @ 56Hz	35.16	56.25			* (36.0)		
27	800 × 600 @ 60Hz	37.88	60.32			* (40.0)	*	* (40.0)
28	800 × 600 @ 72Hz	48.08	72.19			* (50.0)		
29	800 × 600 @ 75Hz	46.88	75.00			* (49.5)		
30	800 × 600 @ 85Hz	53.67	85.06			* (56.25)		
31	852 × 480 @ 60Hz	31.47	59.94			* (33.54) ※5		* (34.24)
32	1,024 × 768 @ 50Hz	39.55	50.00					* (51.89)
33	1,024 × 768 @ 60Hz	48.36	60.00			* (65.0)	*	* (65.0)
34	1,024 × 768 @ 70Hz	56.48	70.07			* (75.0)		
35	1,024 × 768 @ 75Hz	60.02	75.03			* (78.75)		
36	1,024 × 768 @ 85Hz	68.68	85.00			* (94.5)		
37	1,066 × 600 @ 60Hz	37.64	59.94			* (53.0)		* (53.0)
38	1,152 × 864 @ 60Hz	53.70	60.00					* (81.62)
39	1,152 × 864 @ 75Hz	67.50	75.00			* (108.0)		
40	1,280 × 768 @ 60Hz	47.70	60.00			* (80.14)		
41	1,280 × 960 @ 60Hz	60.00	60.00			* (108.0)		
42	1,280 × 960 @ 85Hz	85.94	85.00			* (148.5)		
43	1,280 × 1,024 @ 60Hz	63.98	60.02			* (108.0)	*	* (108.0)
44	1,280 × 1,024 @ 75Hz	79.98	75.03			* (135.0)		
45	1,280 × 1,024 @ 85Hz	91.15	85.02			* (157.5)		
46	1,366 × 768 @ 50Hz	39.55	50.00					* (69.92)
47	1,366 × 768 @ 60Hz	48.36	60.00			* (86.71)		* (87.44)
48	1,400 × 1,050 @ 60Hz	65.22	60.00					* (122.61)
49	1,600 × 1,200 @ 60Hz	75.00	60.00			* (162.0)		* (162.0)
50	1,600 × 1,200 @ 65Hz	81.25	65.00			* (175.5)		
51	1,920 × 1,080 @ 60Hz	67.50	60.00			* (148.5) ※4		* (148.5)
52	1,920 × 1,200 @ 60Hz	74.04	59.95					* (154.0)
53	Macintosh13" (640 × 480)	35.00	66.67			* (30.24)		
54	Macintosh16" (832 × 624)	49.72	74.54			* (57.28)		
55	Macintosh21" (1,152 × 870)	68.68	75.06			* (100.0)		

- ※1 SMPTE 274M準拠。 ※2 SMPTE RP211準拠。 ※3 SMPTE 295M準拠。
 ※4 1,125 (1,080) / 60p として認識します。
 ※5 PC INに525p信号を入力した場合、VGA 60 Hzとして認識します。
 ※6 SMPTE 292M, 372M準拠。Dual Link HD-SDI端子ボード (TY-FB11DHD) 装着時に受像可能となります。
 ※7 1系統あたりの仕様。

修理を依頼される前に...もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください	参 照 ページ
画面に光らない点がある	● プラズマディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります、これは故障ではありません。	—
電源が入らない	● 本機のブレーカーは入っていますか。	19
電源が自動的に切れる	● 「初期設定」メニューの「PCパワーマネジメント」または「無信号電源オフ」が「オン」に設定されていませんか。	38
電源ランプが赤色点滅する	● 故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください	—
リモコンで操作できない	● 電池が消耗していませんか。電池は正しく入っていますか。	10
	● リモコン受信部に外光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。 ● 本機専用のリモコンを使用していますか。(他のリモコンでは動作しません) ● オプションメニューの「Remocon User level」設定を「Off」以外にしていませんか。	48
本機から時々、「ピシッ」と音がする	● 画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他には影響ありません。	—
映像が出るまでに時間がかかる	● 本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたときや、入力を切り換えたときに映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	—
画面にはん点が出る	● 自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波を受けていませんか。	—
色あいが悪い、色が薄い	● 色の濃さ、色あいの調整がずれていませんか。(映像の調整値をご確認ください。)	29
色模様が出たり色が消える	● 他の映像機器から影響(妨害電波)を受けていませんか。 本機の設置場所を変えると良化することもあります。	—
ズームにしたとき画面の上または下が欠ける	● 映像の画面位置調整をずらしたままになっていませんか。 画面位置の調整をしてください。	26~28
ズームにしたとき画面の上下に映像の出ない部分ができる	● 16:9より横長の映像ソフト(シネマサイズのソフトなど)のときは、画面の上下に映像のない部分ができることがあります。	21・22
映像の輪郭がチラチラする	● パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分で輪郭がチラチラするように見えることがありますが、故障ではありません。	—
内部から音がする	● 電源を入れると、ディスプレイパネルの駆動音が聞こえる場合があります。故障ではありませんので、ご了承ください。	—
4:3 映像の両端部分の明るさが変わる	● 「サイドパネル設定」を「高」または「中」にして見ていると、表示内容によっては両端部分の明るさが変化する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	43
動きの少ない明るい映像のときに画面が少し暗くなる	● 写真やパソコンの静止画像など動きの少ない明るい映像を長い間表示すると画面がやや暗くなります。 これは、画面の焼き付きや寿命の劣化を軽減するためで、故障ではありません。	20・43
ディスプレイ本体から「ヒュンヒュン」と音がする	● 本機は静音タイプの冷却用ファンを搭載していますが、夜間など静かな環境ではファンの風切り音が聞こえる場合があります。 排気孔からのほこりが壁に付着することもありますので、設置場所にご注意願います。	—
本体のボタンで操作できない	● オプションメニューの「Button lock」設定を「Off」以外にしていませんか。	47

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼される時

53 ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず本機のプレーカーを切って、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間: お買い上げ日から本体 1 年間

(ただしプラズマディスプレイパネルの焼き付きは除く)

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このプラズマディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社 (以下「当社」) は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報 (以下「個人情報」) を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただきます。これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。

また、お客様に折り返し電話させていただくための、ナンバー・ディスプレイを採用しています。

なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。

3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

修理を依頼される時ご連絡いただきたい内容

ご 氏 名	
ご 住 所	付近の見取り図、目印など。
電 話 番 号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番 お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	詳しくお願いします。
訪問ご希望日	

仕様

本体	品番	TH-152UX1 (152V型) *1
	種類	ハイビジョンプラズマディスプレイ
	使用電源	AC200 ~ 240 V ±10 % 50 Hz / 60 Hz (単相)
	消費電力	3700 W
		本体電源「切」時 約 0.3 W リモコンで電源「切」時 約 0.5 W
	プラズマディスプレイパネル	駆動方式 AC型 152V型*1 (アスペクト比17:9)
	画面寸法	幅 341.6 cm 高さ 180.1 cm 対角 386.2 cm
	画素数	8,847,360画素 (水平4,096×垂直2,160) [ドット数4,096×2,160×3]
	動作使用条件	温度: 0℃ ~ 35℃ 湿度: 20% ~ 80%
	HDMI入力端子 HDMI 1/2	TYPE Aコネクタ×2 HDMI 1.4 3D
	デュアルリンク HD-SDI入力端子*2 SDI IN	HD-SDI (デュアルリンク) ×4 4K入力 BNC接栓 0.8 V [p-p] (75 Ω)
	シングルリンク DVI-D入力端子*2 DVI-D IN	DVI-D (シングルリンク) 24ピン×4 4K入力 DVI Revision 1.0準拠
	パソコン入力端子 PC IN	ミニD-sub 15ピン SXGA対応: マルチスキャン方式 (DDC2B対応) *対応周波数: 水平15 kHz ~ 110 kHz 垂直48 Hz ~ 120 Hz G 1.0 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含む 0.7 V [p-p] (75 Ω) 非同期信号時 B 0.7 V [p-p] (75 Ω) R 0.7 V [p-p] (75 Ω) HD/VD 1.0 ~ 5.0 V [p-p] (ハイインピーダンス)
	シリアル端子 SERIAL	外部制御用端子 D-sub 9ピン RS-232C準拠
	3Dシャッター 出力端子*3 3D SHUTTER OUT	M3ジャック×1 3D用
	端子ボード用 スロット SLOT	DVI-D 24ピン×1 音声入力非対応 DVI Revision 1.0準拠 HDCP 1.1準拠
外形寸法	幅 360.0 cm 高さ 198.0 cm 奥行 14.7 cm (端子部含む 26.0 cm)	
質量	約 577 kg	
キャビネット材質	金属 (前面、バックカバー)	

リモコン	品番	N2QAYB000560
	使用電源	DC 3 V (単3形乾電池2コ)
	操作距離	約 7 m以内 (プラズマディスプレイ正面距離)
	使用範囲	受信部左右: 30°以内、受信部上下: 20°以内
	質量	約 160 g (乾電池含む)

※ 1 ディスプレイのV型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※ 2 4K信号は1入力のみ対応。異なる4つの信号を入力できません。

※ 3 3D映像の視聴には別売の3D IR トランスミッターが必要です。

● 本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品番	
	販売店名		お客様ご相談窓口	
		☎() -	☎() -	

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社 映像・ディスプレイデバイス事業グループ

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 ☎大阪 (06) 6905 - 5574